



山形県飯豊少年自然の家

利用ガイド



<山形県飯豊少年自然の家を利用していただくには…>

電話等での問い合わせ(仮予約)

電話等により利用が可能かどうかをお問い合わせください。その際、利用予定日・利用人数・活動内容等についてお知らせください。

利用許可申請書等の提出(予約)

利用許可申請書等に必要事項をご記入のうえ、仮予約後すぐに郵送・FAXまたは、メール添付にてお送りください。なお、申込内容の変更(食事数)は、休所日を除いて利用日の3日前の正午まで受け付けますので、予約時は予定数でお申し込みいただいて構いません。

利用許可証の送付(予約完了)

利用許可申請書等の確認後、自然の家から「利用許可証」を送付いたします。
※野外炊飯またはテント泊をご希望の場合は、活用セミナー(事前研修)への参加を
お願いしています。

活動プログラムの提出

利用日の3週間前までにご提出ください。物品の数の確認や場所の調整などがある場合、研修担当から団体の主担当の方へご連絡いたします。

自然の家に到着したら……

原則として、自家用車、バス等は一般駐車場に駐車してください。事務室に用事のある方や緊急搬送用車両のみ事務室前駐車場に駐車してください。

1 入所事務

各団体の代表者の方は、まず事務室におこしください。利用人数、活動プログラム等について確認させていただきます。

2 であいのつどい

開会行事として「であいのつどい」の時間を必ず設定してください。各団体で企画・進行をお願いします。

3 オリエンテーション

必ず設定してください。「であいのつどい」の終了後、引き続き研修担当より利用上の注意事項やベッドメイキングについてお話しさせていただきます。

各団体のプログラムにそって活動を!

不明な点がありましたら何なりと所員にお尋ねください。



山形県 飯豊少年自然の家 所歌

昭和61年（1986年）10月21日制定

中川 尚志 作詞
高橋 幹彦 作曲

Moderato
(明るくおおらかに) mp 8.

1. や ま な み た か く ゆ き ひ か り わ
2. し ら な か わ の せ に ら あ ゆ ひ お ど り り
3. ゆ き ふ り つ も に の は ひ ろ く お

か ば が に お う こ の あ し た
め さ ゆ り さ く こ の ゆ う べ
い た ま の そ ら は れ わ た べ

つ ど う わ れ ら は げ ん き よ く
つ ど う わ れ ら は あ た た か か く
つ ど う わ れ ら は あ す こ や か に

の や ま を か け る ぼ う け ん し ょ う ね ん
か た を く み あ す ゆ う あ い し ょ う ね ん
み ら い へ す す む そ う ぞ う し ょ う ね ん

た く ま し い る こ こ ろ と か ら だ と も に き た え よ う い
お も ま い し ゃ かな さ け と と か ゆ う だ と も に そ だ て よ う い
あ ふ れ く いる な わ か さ と と ち か ら と も に の ば そ ー ー ー

で で し ょ う ね ん し ぜ ん の の い ー え 2. し
で し ょ う ね ん し ぜ ん の の い ー え

山形県飯豊少年自然の家所歌

中川 尚志 作詞
高橋 幹彦 作曲

一、山なみ高く雪光り

若葉が匂うこのあした
集うわれらは元氣よく
野やまを駆ける冒険少年
たくましい心とからだ
ともに鍛えよう

飯豊少年自然の家

二、白川の瀬に鮎おどり

姫小百合咲くこの夕べ
集うわれらはあたたかく
肩を組み合う友愛少年
おもいやる情けと勇氣
ともに育てよう

飯豊少年自然の家

三、雪ふりつもる野は広く

置賜の空晴れわたる
集うわれらは健やかに
未来へ進む創造少年
あふれくる若さとちから
ともに伸ばそう

飯豊少年自然の家



もくじ



I	山形県飯豊少年自然の家について	P 2～
II	活動プログラムの作成にあたって	P 4～
III	自然の家の利用について	P 14～
IV	活動展開例	
1	館内泊	P 18～
2	テント泊	P 20～
3	野外炊飯	P 24～
4	ハイキング	P 26～
5	追跡ハイキング	P 28～
6	ネイチャーウォークラリー	P 30～
7	グリーンアドベンチャー	P 32～
8	フィールドアスレチック	P 34
9	フライングディスクゴルフ	P 35
10	ナイトハイキング	P 36
11	キャンプファイアー・キャンドルサービス	P 37～

V 資料

各種申請用紙（様式第1号－③・利用申請①～⑤）記入例、館内平面図、周辺図 他

I 山形県飯豊少年自然の家について

1 概 略

山形県飯豊少年自然の家は、昭和56年7月、県立の第3自然の家として山形県西置賜郡飯豊町に設置されました。ここ飯豊町は、山形県の南西部に位置し、米沢市、川西町、長井市、小国町と接しており、地理的には置賜地方のほぼ中心に位置しています。

当所は自然豊かな里山の中腹にあり、四季折々に美しくその姿を変える植物や樹木に囲まれた活動エリアは、壮大な自然の営みを私たちに体感させてくれます。遙か西方には日本百名山のひとつ「飯豊連峰」を仰ぎみることができ、麓を母なる川「最上川」の支流「置賜白川」が流れています。また展望台からは『第一回美しい日本のむら景観コンテスト』で最高賞を受賞した散居集落の景観を眺めることができます。

山形県飯豊少年自然の家 基本テーマ 野性と冒険 (土と緑と太陽と)

サブテーマ 「体験」「探究」「尊重」「協働」

教育目標

自然体験や集団宿泊体験などの様々な体験活動を通して「野性味とたくましい冒険心」を培うとともに、社会性や協調性などの「他とかかわる力」の育成に努める。

また、様々な体験活動や学習機会を提供して、自己の充実や啓発、生活向上を支援する。

◇自然に親しみ、自然の優しさや厳しさに触れ、自然を大切に作る心や豊かな感性を育てる。

◇集団体験を通して他とのかかわりを促進し、コミュニケーション力や自律、自尊感情、思いやり、感謝、感動などの豊かな心を培う。

◇様々な体験活動や交流活動に積極的に挑戦することにより、心身を鍛え、主体的・協同的に行動したり問題を解決したりする力と態度を養う。

2 利用できる人・団体 ※どなたでも利用できます

- 幼児、小学生、中学生、高校生、大学生およびその引率者
- 青少年団体（各種少年団、ボーイスカウトなど）
- 家族やグループ（ボランティアサークル、育児サークル、同好会など）
- 各種団体（PTA、子ども育成会、婦人団体、高齢者団体など）
- 個人（自然体験、生涯学習講座受講者）
- その他 指定管理者が認めたもの



3 利用目的 ※特定の宗教的活動や商業的活動を行うことはできません。

宿泊体験活動、自然体験活動、各教科の学習、リーダー研修、合宿、研修会、団体の親睦 など

4 利用できない日

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日（4月、5月、7月及び10月にあるものを除く）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- (3) 毎月の第3日曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日（7月にあるものに限る）の前日を除く。（4）について同じ）
- (4) 月曜日（毎月の第3日曜日の翌日、国民の祝日に関する法律に規定する休日（4月、5月、7月及び10月にあるものに限る）及び4月30日から5月2日までの日を除く）

5 主な施設・設備

- 本館 宿泊棟（洋室・和室 計16室 定員200名）、食堂（216名収容可）
プレイホール『チャレンジ広場』、土間『どろんこ広場』、研修室、大浴場（男女別）
- 野外 テントサイト（2カ所 約100名宿泊可）、野外炊飯場（2カ所）
フィールドアスレチック、各種ハイキングコース、野外ゲームエリア『アドベンチャー広場』

6 利用料金

施設利用料につきましては、条例改正により以下のように変更予定です。
最新情報については、ホームページをご覧ください。もしくは研修担当
までお問い合わせください。 ※R7.3.1 現在

(1) 施設使用料

区分	県内在住者 宿泊利用	県外在住者 宿泊利用	県内在住者 日帰り利用
①学齢に達しない者	無 料	無 料	無 料
②小中学生等		490 円	
①②の引率・指導者		1410 円	
県教育委員会主催事業参加者		無料	
③高校生等	490 円	490 円	※利用した 部屋による (右表参照)
③の引率・指導者	790 円	1410 円	
①②③の同伴者	790 円	1410 円	
社会教育関係者	490 円	1410 円	
④大学生等	790 円	790 円	
④の引率・指導者・同伴者	790 円	1410 円	
その他の者	1410 円	1410 円	

左表(※)の者、および県外在住者が日帰り利用で各部屋を使用した場合の料金

部 屋 名	使用料
研修室(真理)	240 円
研修室(友情)	240 円
食 堂	770 円
チャレンジ広場	770 円
どろんこ広場	1680 円

※個人等で宿泊利用は、10名以上を原則とする。

(2) シーツリース料

宿 泊 別 寝 具	リース料
シーツ・枕カバー(館内泊用)	300 円
シュラフシーツ(テント泊用)	220 円

施設使用料の徴収については各団体の構成状況や利用者の年齢等によってその金額が違います。詳細は庶務担当までお問い合わせください。

7 利用申込について

(1) 利用申込の方法

手順① 電話等により利用が可能かどうかをお問い合わせください。

その際、利用予定日・利用人数・活動内容等についてお知らせください。【仮予約】

手順② 利用許可申請書等に必要事項をご記入のうえ、仮予約後すぐにメール添付またはFAXにてお送りください。なお、申込内容の変更(食事数)は、休所日を除いて利用日の3日前の正午まで受け付けますので、予約時は予定数でお申し込みいただいて構いません。

※データ入力(Excel版)での申し込みは利用申請①～となります。「利用許可申請書」はメール添付またはFAXにてお送りください。

手順③ 利用許可申請書等の確認後、自然の家から「利用許可証」を送付いたします。【予約完了】

(2) セミナー(事前研修)への参加

利用団体の指導者の方には、原則として「活用セミナー」または「フライデーセミナー」に参加していただきます。特にテント泊・野外炊飯・野外活動を予定している場合は、より安全で有効に施設を活用していただくために「活用セミナー」への参加をお願いします。

セ ミ ナ ー 名	期 日	内 容
活 用 セ ミ ナ ー	第1回 4月16日(水) 第2回 5月14日(水) 第3回 6月22日(日) 第4回 8月19日(火)	テント設営や野外炊飯・各種野外活動等を体験・研修し、各利用団体の代表者による活動調整会を行います。各団体で1名以上の参加をお願いします。 <u>利用当日、野外炊飯を実施する場合、「野外炊飯実習」は必須です。</u>
フライデーセミナー	ご相談ください。	事前相談、施設や活動場所の下見のためのセミナーです。事前予約が必要です。

Ⅱ 活動プログラムの作成にあたって

1 活動プログラムの立案

山形県飯豊少年自然の家では、自然体験活動やクラフト活動等、約40種類の活動を提供することができます。当所の利用を申し込んでいただく際に、「いつ」「どこで」「どんな」活動を計画すれば安全で充実した活動ができるのかをよくご考慮のうえ、各団体の利用目的や年齢構成に応じて活動プログラムを立案してください。また、以下の点については特にご配慮ください。

- 利用のねらいを明確にし、ねらいを達成できるような活動内容を考える。
- 豊かな自然環境や施設の特性を充分活用し、日常生活では体験できない活動を取り入れる。
- 活動の時間を充分確保し、ゆとりを持って活動できるようにする。
- 荒天でも対応できるプログラムを考え、その場合を想定した指導・支援体制を整える。
- 各団体の代表者は、セミナーなどを利用して事前の打ち合わせや下見を入念に行う。

2 主な活動内容 (※) 印は活動材料費が別途必要となるもの。詳細は「3. 活動経費」参照のこと。

種類	活動名	ねらい	場所	所要時間	期間
自然 体験 活動	キャンプ (テント生活)	日常生活の利便性について考えるとともに、自然の美しさや厳しさを感じながら自然に親しむ。	テントサイト	準備から設営まで2～2.5時間	5～10月 (館内では通年)
	ハイキング (自然散策)	自然の中を歩き、植物や昆虫を観察したり景色を眺めたりしながら自然に親しむ。	自然の家周辺 ハイキングコース	1～3時間	4～11月
	追跡ハイキング	野山に配置されたポイントを探したり問題を解決したりしながら、ハイキングを行い、自然に親しむ。	自然の家周辺 追跡ハイキングコース	2～3時間	5～11月
	ネイチャーウォークラリー	野山に配置されたポイントを探したり、自然に関する課題を解決したりしながら、ウォークラリーを行い、自然に親しむ。	自然の家周辺 ウォークラリーコース	2～2.5時間	5～10月
	グリーンアドベンチャー	仲間と協力して標識を探し、植物の特徴について調べることで、コースを楽しく歩きながら自然に親しむ。	自然の家周辺 ハイキングコース	1～2時間	5～10月
	フィールドアスレチック	野山に設置されたアスレチックに挑戦し、自分の力に合わせて障害物を克服したり、体を動かしたりして楽しむ。	自然の家周辺 アスレチックコース	1時間程度	5～11月
	フライングディスクゴルフ	フライングディスクをホールめがけて投げ、できるだけ少ないスコアで入れることができるように競い合っ て楽しむ。	自然の家周辺	1～2時間	4～11月
	ナイトハイキング	仲間とともに暗闇で静寂な山道を歩くことで、日中は感じることもなかった自然の美しさや怖さを体感する。	自然の家周辺 テントサイト周辺 展望台付近	1時間程度	4～11月
	スノーチューブすべり (※)	タイヤチューブで斜面を滑って楽しむ。	一般駐車場上部斜面 国旗掲揚塔下斜面 冒険トンネル付近	1～2時間	1～2月
	スノーハイキング (※)	スノーシューを履いて冬の野山を歩き、自然に親しむ。	自然の家周辺 ハイキングコース	半日程度	
アニマルトラッキング	雪の野山で動物の足跡を探したり、動物の生態を考えたりして自然に親しむ。	自然の家周辺 テントサイト周辺			

種類	活動名	ねらい	場所	所要時間	期間	
炊飯活動	野外炊飯(※)	野外での炊飯活動を通して、火のおこし方、調理方法などを身につける。	野外炊飯場 荒天時は本館周辺軒下	4時間程度	4～11月	
	うどん打ち体験(※) ピザづくり体験(※) くるくるパンづくり体験(※)	うどんやピザをつくる体験を通して、自分でつくることの喜びや手づくりの味わいを楽しむ。	食堂 他	2～3時間	通 年	
	もちつき(※)	臼と杵を使って、日本の伝統的な餅つきを体験する。	いいでの広場 他	2時間程度	11～3月	
	流しそうめん(※)	涼を感じながら、仲間とともにダイナミックな流しそうめんを楽しむ。	食堂テラス	1時間半程度	7～9月	
レクリエーション	火おこし体験(※)	原始的な方法による発火を体験し、火の大切さや自然の偉大さを実感する。	野外炊飯場他 荒天時はどろんこ広場	1時間程度	4～11月	
	キャンプファイアー(※) キャンドルサービス(※)	火を囲んで歌ったりゲームをしたりして楽しみ、仲間との親睦を図るとともに互いの絆を深める。	キャンプファイアー場 どろんこ広場 他	2時間程度	通 年	
	館内ハイキング	館内に配置されたポイントを探したり問題を解決したりすることで、楽しみながら館内の様子を知る。	自然の家 館内	1～2時間	通 年	
	館内フォトビンゴ	写真を手がかりにその場所を探すことで、楽しみながら館内の様子を知る。	自然の家 館内	1時間程度	通 年	
	館内チャレンジ	様々な課題を協力しながらクリアすることで、仲間意識を高める。	自然の家 館内	1時間程度	通 年	
	館内クロスワード	自然の家周辺に自生する植物に親しむ。	自然の家 館内	1時間程度	通 年	
	スラックライン	ベルト状のラインの上を歩き、バランス感覚を養う。	自然の家周辺	1時間程度	4～11月	
	ポッチャ	赤または青のボールを投げたり、転がしたりして、白い球にどれだけ近づけられるかを競い、仲間意識を高める。	チャレンジ広場	1～2時間	通 年	
	モルック	木製の立てられた12本のピンを木の棒で倒し、得点を争う。2人～チーム戦で楽しめる。	自然の家周辺 どろんこ広場	1～2時間	通 年	
	集団づくりゲーム 自然体感ゲーム	設定された様々な課題をグループで協力して解きながら、人間関係を育む。 自然物を利用したゲームを楽しみながら、五感を通して自然に親しむ。	自然の家周辺 アドベンチャー広場	1～2時間 2時間程度	5～11月	
	クラフト活動	ブンブンごまづくり(※)	木地に絵付けをし、自分だけのオリジナル作品を仕上げる。	研修室 他	1～2時間	通 年
		ストーンペンダントづくり(※)	滑石を削ってペンダントをつくる。	どろんこ広場 他		通 年
壁掛けプレートづくり(※) ウッディクロックづくり(※) キューブカレンダーづくり(※)		木の加工品を利用して、絵を描いたり木を貼り付けたりして作品を仕上げる。				
ネイチャーキーホルダーづくり(※) ネイチャーペンダントづくり(※)		木片や木の実などを利用し、オリジナルのキーホルダーやペンダントをつくる。			通 年	
オリジナルカスタネットづくり(※)		2枚の木片を利用し、色をつけたり、自然物を貼り付けたりして自分だけのカスタネットをつくる。		1～2時間		
いいでの自然プリント(※)		採取してきた植物の葉や茎の特徴を生かし、アクリル絵の具を塗って布地にプリントして楽しむ。	研修室 他		5～10月	
竹箸づくり(※) しの竹笛づくり(※)		竹の特性を生かして、昔から伝わる玩具や生活用品をつくる。				
マイスプーンづくり(※) マイフォークづくり(※)		木の枝を加工してスプーンやフォークに仕上げる。			通 年	
木の実アート(※)		木の実に自由に絵をかいたり、ボンドで付けたりして、台座にかざりつける。		1時間程度		
まつぼっくりツリーづくり(※) クリスマスリースづくり(※)		まつぼっくりをビーズで飾る。 植物のつるに木の実をつけてリースをつくる。			11～12月	

上記活動のうち、うどん打ち体験、ピザ・くるくるパンづくり体験以外はすべて各団体の指導者の方々に進めていただくことが原則となります。前述のセミナーにご参加いただき、利用者が安全に楽しく活動できるように事前準備を入念に行ってください。要請があればサポートもいたします。

3 活動経費

(1) 食事料金

< 館内食メニュー表 >

【税込み】

食事内容	内容別料金		備 考
朝 食	480円	※食物アレルギー代替え可	※館内食のメニューの希望はお受けいたしません。 ※野外炊飯は<野外炊飯・弁当メニュー表>を参照ください。
昼 食	600円		
夕 食	750円		
季節のメニュー	めざまの春ランチ	普通盛 470円 (幼児～小学校低学年向け)	4月～5月 ※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。
	どんぐりランチ	ちょい大盛り 520円 (小学校高学年以上向け)	9月～11月 ※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。
	スノーランドランチ	※8大アレルゲン不使用	1月～2月 ※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。
	流しそうめん	450円 (ガス代込み)	7～9月 調理は各団体でお願いします。 ※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。
	サツマイモ	時価 (焼き芋用)	9月～11月 ※価格は3週間前にご確認ください
	もちつき	500円 1食 180g (1合強)	11月～3月 納豆、雑煮、きな粉の3種類。飲み物付き。
	玉こんにゃく	1本80円	1月～3月
	ココア	1杯60円	
うどん打ち	天ぷらつき	550円 (材料代、えび天1尾、かきあげ代、ガス代 込み)	
	天ぷらなし	330円 (材料代、ガス代 込み)	
ピザづくり	一斗缶ピザ…シーフードピザ、ソーセージピザともに600円 (ガス代込み)		2種類のピザからお選びください。 <u>原則40枚まで</u> ※一度に20枚までしか焼けません。
	包み焼きピザ 500円 ※別途薪代がかかります。(1束で8名まで)		一斗缶ピザで対応できないような場合は、こちらをお勧めします。
くるくるパン	200円 (材料, アルミホイル代を含む) ※別途薪代がかかります。(1束で8名まで)		薪を使って、焚き火で焼きます。

【重要】



- ・館内食（朝食・昼食・夕食）は曜日によって《Aパターン・Bパターン・Cパターン》があります。ご利用日がどのパターンになるか、ホームページ「**食堂・メニュー案内**」からパターン表をご覧ください。
- ・各メニューの成分表は、ホームページ「**食堂・メニュー案内**」にアップしております。ご確認いただき、食物アレルギーの対応が必要であれば、「**食物アレルギーの対応表**」のご提出をお願いいたします。

< 館内食メニュー 例 >



『朝食（例）』



『昼食（例）』



『夕食（例）』



『めざまの春ランチ』



『どんぐりランチ』



『スノーランドランチ』



『餅つき』
※雑煮、納豆、きな粉



『天ぷら付きうどん』
※うどん打ち体験



『一斗缶ピザ』
※ピザづくり体験



『包み焼きピザ』
※ピザづくり体験
※薪代別途



『くるくるパン』
※薪代別途

< 野外炊飯・弁当メニュー表 >

【税込み】

	メニュー名	主な内容（果物の種類は市場状況による）
朝食	カートンドック 480円	ホットドック2本（パン、ウインナー）、牛乳、バナナ ※薪は使いません。空の紙パック（1L）を一人2個持参してください。
	牛乳パックDeホットサンド 530円	ホットサンド2個（食パン、ハム、チーズ）、牛乳、バナナ ※薪は使いません。空の紙パック（1L）を一人2個持参してください。
	いいでバーガー 600円	バンズ1セット、ハンバーグ（冷凍）、スライスチーズ、牛乳、レタス※4名で1枚 ※ガス代込み
昼食・夕食	ポークカレー 650円 ※8大アレルギー対応	ご飯、ポークカレー、サラダ、果物、お茶（紙パック） ※薪代別途
	ワイワイ焼きそば 650円	焼きそば（肉・野菜入り）、サラダ、果物、お茶（紙パック） ※薪代別途
	ジュージュー焼き 650円	ご飯、焼肉、野菜、お茶（紙パック） ※薪代別途
	芋煮（9～11月限定）※価格は相談	芋煮、ご飯 または カレーうどん、付け合せ※薪代別途
お弁当 ※飲み物付き	いいで弁当 600円	ご飯、コロッケ、ウインナーなど ※携行用容器を使用
	おにぎり弁当 380円	おにぎり2個、卵焼き、ウインナー、から揚げ ※携行用容器を使用
	どんぐり弁当 400円 ※幼児～小学校低学年向け	そばろご飯、ウインナー、ブロッコリーなど ※携行用容器を使用
	豚しょうが焼き弁当 600円	ご飯、豚バラ肉、かまぼこ、キャベツなど ※携行用容器を使用
	メンチカツ弁当 600円	ご飯、豚挽き肉、紅鮭、コロッケ、卵ロールなど 【提供時期は10月～3月となります】 ※折り詰め容器を使用
	わいど弁当 740円	ご飯、手羽元唐揚げ、卵ロール、ブロッコリー、ミニトマト ※携行用容器を使用
お茶	お茶（紙パック） 100円	250mlの紙パックのお茶

※各メニューは、それぞれの食事の時間に適したものですが、昼食・夕食のメニューを朝食で調理することも可能です。（厨房からご飯の提供を希望する場合は、1人120円頂戴します）

※野外炊飯で、メニューに無いものに取り組みたい場合は研修担当にご相談ください。

①野外炊飯をする場合は、以下の点にご留意ください。

○各野外炊飯メニューや、うどん打ち体験、ピザづくり体験は班編成が必要となります。
5～8名で班を編成してください。

○「カートンドック」「牛乳パックDeホットサンド」以外は野外炊飯用薪、またはガスコンロが必要となります。

（炊飯用薪 1束490円 1束で5～8人の1食分の炊飯が可能）。

（卓上コンロ 1台230円 湯煎やお湯を沸かす際の時間短縮に最適です）

○1回の食材提供で複数のメニューを希望する場合は、1メニュー20人以上および3メニュー以内にしてください。 ※ごはんの大盛りや品数追加をご希望の場合はご相談ください。

②野外炊飯とセットになっているお茶（紙パック200mL）を牛乳に変更することも可能です。

【食物アレルギーの対応について】

8大アレルギー不使用や代替え食の提供を行っております。アレルギー等で食事制限の必要がある場合は、必ず事前にご相談ください。

※完全除去食への対応は出来ませんので、利用団体様より弁当等を持参していただく対応をお願いいたします。予めご了承ください。

< 野外炊飯・弁当 盛り付け例 >



カートンドック



牛乳パックDeホットサンド



ワイワイ焼きそば



いいでバーガー①



いいでバーガー②

ホットプレート、または牛乳パックで調理



ポークカレー



おにぎり弁当



どんぶり弁当



いいで弁当



豚しょうが焼き弁当



メンチカツ弁当【10～3月限定】



わいんど弁当

- ① 弁当の提供場所は、食堂内のカウンター付近です。団体名の表示を確認の上、団体ごとにお持ちください。
- ② 弁当のゴミは、厨房から提供するごみ袋に入れて、当所のごみ収集所に出してください。
※割りばしや食べ残しは、新聞紙等にくるんでから捨てるようお願いします。

(2) 材料料金

< 炊飯活動・体験活動・クラフト活動表 >

【税込み】

	活動材料名	料 金	備 考	
炊飯活動 ・ 体験活動 他	キャンプファイヤー用薪	小 490円 中 2500円 大 5000円	束のまま残ったものは返却可 「小」は野外炊飯用薪と同じもの	
	スウェーデントーチ	1本 1200円	十字に切り込みを入れた丸太に、直接火をつけて焚き火にします	
	灯油	1L 140円	1L以上の残りは返却可。	
	トーチ棒セット	1セット 40円	トーチ用棒、布、針金のセット	
	ローソク (キャンドルサービス用)	1本 30円	燭台も使用可	
	炊飯用薪	1束 490円	束のまま残ったものは返却可	
	メスティン使用 (固形燃料1個含)	1つ 60円	使用しないものは返却可	
	卓上コンロ	1台 230円	使用しないものは返却可	
	ガスコンロ	1基 700円	1基で五徳2台まで使用可能	
	液体洗剤(自然環境に考慮した天然成分の洗剤)	1本 280円	450mL 使用しないものは返却可	
	スノーシュー	1セット 50円	冬期間 貸し出し可	
	スノーチューブ	1台 50円	原則1人1台 ※家族1台でも可	
ク ラ フ ト 活 動	ひもぎり式火おこしセット	1セット 150円	使用しないものは返却可	
	火打石式火おこしセット	1セット 250円		
	まいぎり式火おこしセット	1セット 250円		
	ローソク(火起こし体験での火を保つもの)	1本 30円		
	ブンブンごまセット	1セット 130円	マジック、木工用ボンド、グルーガン、ペンチ、ハサミ、ピンセット等を活動に応じて貸し出します。	
	ストーンペンダントセット	1セット 250円		
	壁掛けプレートセット	1セット 250円		
	キューブカレンダーセット	1セット 300円		
	ネイチャーペンダントセット	1セット 120円		
	ネイチャーキーホルダーセット	1セット 120円		
	オリジナルカスタネットセット	1セット 150円		
	ネイチャーラビリンス	1セット 250円		
	ネイチャーコルクボード	1セット 300円		
	しの竹笛	1個 150円		残ったものは返却可
	竹箸	1膳 30円		
	マイスプーン	1本 200円		
	マイフォーク	1本 200円		
	ウディックロック	1台 350円		
	木の実アート	1セット 100円		
	手回しゴマの絵付け	1個 150円		
まつぼっくりツリーセット	1セット 100円			
クリスマスリースセット	1セット 350円			
いいでの自然プリント用アクリル絵の具	1人分 100円			

- ① 申込んだ材料数に変更がある場合は、入所事務の際にお申し出てください。束のものは解かず返却してください。
- ② クラフト活動をする場合は、以下の点についてご注意ください。
 - 貸し出した用具は、整理整頓のうえ返却してください(特に、絵の具皿や筆など)
 - アクリル絵の具や木工用ボンドなど、使い切った際は必ず所員にお知らせください。

< 野外活動・クラフト活動 画像 >



スウェーデントーチ



火おこし【ひもぎり式】



【火打石式】



【まいぎり式】



ブンブンごま



ストーンペンダント



壁掛けプレート



キューブカレンダー



ネイチャーペンダント



オリジナルカスタネット



ネイチャーラビリンス



ネイチャーコルクボード



マイスプーン/フォーク



ウッディクロック



木の实アート



手回しゴマの絵付け



まつぼっくりツリー



クリスマスリース



いいでの自然プリント
※布地の準備、自然物の調達は各自でお願いします。

4 貸し出し用具一覧

★施設外への貸し出しは、原則として行っておりません。

種類	用具名	数量
体験活動用具	ドームテント一式（6人用）	25張
	ドームテント一式（5人用）	8張
	シュラフ	300個
	テント泊用銀マット	60枚
	電池ランタン	14個
	ハイキングコース地図セット	25セット
	追跡ハイキング地図セット	25セット
	ネイチャーウォークラリー地図セット	20セット
	グリーンアドベンチャー地図セット	25セット
	フライングディスクゴルフ用具（20人分）	1組
	トレッキングポール	15本
	タイヤチューブ（冬季のチューブすべり用） ※有料（P10を参照）	65個
	スノーシュー 大人用	24セット
	スノーシュー 子ども用（大）	15セット
	スノーシュー 子ども用（小）	24セット
	※有料（P10を参照）	
	スノーハイキング用ストック	50セット
	双眼鏡	5台
	リヤカー	15台
	炊飯活動用具	野外炊飯コンテナ（炊飯用具一式）
食器類（平皿・お椀等）、スプーン		400人分
なべ（大と小あり）		100個
鉄板		20枚
組み立て式テーブル（6人用）		50脚
丸椅子		190脚
なた		15丁
炊飯用一斗缶		50缶
一輪車		3台
うどんづくり用具セット※1		19セット
もちつき用具一式	2セット	

種類	用具名	数量
レクリエーション	火の神衣装（服・冠）	6セット
	火の巫女衣装（服・冠・腰ひも）	6セット
	キャンドルサービス個人用燭台	200個
	キャンドルサービスメイン燭台	3台
	館内ハイキング地図セット	25セット
	館内フォトピンセット（9マス、16マス、25マス）	各20セット
	竹馬	10組
	ストラックアウトセット	2セット
	卓球用具一式	1セット
	和太鼓	2台
	スラックライン	3本
	ポッチャ	3セット
	モルック	3セット
クラフト用具	小刀	50丁
	きり	70丁
	デコラソー（工作用のこぎり）	40丁
	グルーガン	20台
視聴覚機器	CDラジカセ	1台
	ワイヤレスアンプ一式	1台
	ワイヤレスマイク	1台
	黒板	1台
その他	折り畳み式長机	35台
	パイプ椅子	120脚
	ホワイトボード	2台

※1 うどんづくり用具はそばづくりでも使用しております。
アレルギー等配慮ください。

☆その他、必要なものがありましたらご相談ください。

貸し出した用具は、各団体の代表者が責任を持って元の場所に返却してください。ただし、以下の用具を返却する際は必ず所員に連絡し点検を受けてください。所員への連絡はどろんこ広場内にある内線電話をご利用ください。（事務室は12番）

○ドームテント一式 ○野外炊飯コンテナ ○食器類 ○なべ ○鉄板

5 バス利用について

自然の家では、各団体の送迎や広域活動に利用することができる大型バスを所有しています（無料）。バスの利用を希望される場合は、事前に予約状況を確認していただき、様式4「バス利用申込書」に必要事項をご記入のうえ、利用日の3週間前までにご提出ください。

※バスの利用にかかわって、必ず本所ホームページ内の「バス利用」をご覧ください。

- ◆乗車人数 4～12月 44（補助席を含む）
 1～ 3月 43（補助席を含む）
- ◆運行時間 4～12月 8：40～16：00
 1～ 3月 9：00～16：00 }
- ◆利用条件 ①本所事業に関わる送迎
 ②最寄の駅（羽前椿駅、今泉駅、羽前小松駅）までの送迎
 ③小・中学校の学校行事における学校までの送迎
 ④自然の家での活動に含めて広域活動・広域学習を行う場合 ※当所に帰着のこと
 ⑤その他、指定管理者が認めた場合

6 利用前の準備

（1）事前打ち合わせ

利用日の1週間ほど前までに、日程や食事数、用具数等をメールまたは電話にて確認させていただきます。不明な点がありましたら早めにご連絡ください。

（2）事前指導

自然の家での活動が有意義ものとなるように、以下の点について利用者への事前指導をお願いします。

- ①自然の家での活動に関するねらいや心がまえ
- ②自然の家を利用するにあたってのきまり
- ③日程や活動内容

※ホームページに事前指導用の動画を掲載しておりますのでご活用ください。

（テント、ベッドメイキング、シュラフ、炊飯コンテナ、トーチ棒、かまど等）

（3）準備品等

①各団体でご準備いただくもの

- 緊急搬送用乗用車1台 →事務室前駐車場をご利用ください。
- 常備薬や救急医薬品等 →自然の家にも簡単な救急医薬品は備えております。
- 野外炊飯やその他団体で必要なもの →ゴミ袋、スポンジ、金だわし、ふきんなど

②持ち込みを原則として禁止しているもの

- おやつ、お菓子
- ゲーム類
- 食材料



Ⅲ 自然の家の利用について

《宿泊にかかわって》

- ◆研修プログラムを必ず設定してください。内容等については研修担当にご相談ください。
- ◆朝食・夕食は必ずお摂りください。ただし、少人数の場合は提供できないことがあります。
- ◆宿泊部屋の清掃は必ず行ってください。
- ◆17:00まで入所してください。退所は原則9時以降（部屋点検は8:40以降）となります。

1 入所にあたって

※17:00まで入所してください。

入所時、以下のような流れをお願いします。

自然の家に到着

原則、自家用車、バス等は一般駐車場に駐車してください。事務室に用事のある方や緊急搬送用車両のみ事務室前駐車場に駐車してください。

入所受付

各団体の代表者の方は、まず事務室におこしください。
以下の点について確認させていただきます。

- ①利用人数・食事数の確認、活動材料数等の変更の有無
- ②活動プログラムの変更の有無
- ③緊急時のための連絡先（携帯電話番号）
- ④代表者打ち合わせについて
- ⑤施設の規則や利用上の配慮事項
- ⑥諸経費の支払い時間について
- ⑦利用団体カード、アンケート等の記入依頼

この段階での食事数の変更はできませんのでご注意ください。変更に対応できるのは寝具利用数、活動材料数のみです。

であいのつどい

開会行事として「であいのつどい」の時間を必ず設定してください。
各団体で企画・進行をお願いします。

- 例
- | | |
|-----------|-------------|
| ①開会のことば | ④自然の家所長あいさつ |
| ②歌 | ⑤利用者代表のあいさつ |
| ③団体代表者のお話 | ⑥閉会のことば |

「であいのつどい」の中に④は必ず設定してください。

オリエンテーション

必ず設定してください。「であいのつどい」の終了後、引き続き研修担当より利用上の注意事項やベットメイキングについてお話しさせていただきます。

※オリエンテーションは10分程度です。ベットメイキングについては別の時間に設定していただいても構いません。

シーツ類の受け取り（宿泊される場合のみ）

宿泊される場合は、シーツ貸し出し場所（リネン室前）に必要となるシーツ類が準備されていますので、団体名の表示を確認のうえ、各自お持ちください。

- ◆館内泊 …………… 1人分 シーツ2枚+枕カバー1枚
- ◆テント泊 …………… 1人分 シュラフシーツ1枚

2 自然の家での生活・活動

自然の家では、計画した活動プログラムにそって生活・活動していただくこととなりますが、基本的には各団体の指導者・引率者の方が中心となって指導・引率にあたってください。なお、自然の家は社会教育施設ですので様々なきまりや約束があります。利用者全員に周知徹底を図り、きまりや約束を守り、他団体の迷惑にならないようご注意ください。

(1) 食事について ※施設運営上、少人数利用の場合は朝食・夕食が提供できないことがあります。

①館内食（食堂内）はセルフサービスです。配膳から後片づけまで各団体でお願いします。

配膳；カウンター右手前方より順にお取りください。

食事；調味料等は全員で順にお使いください。

片づけ；テーブルごと食器類を集め、表示（種類別）にしたがって返却してください。

②食堂では複数の団体が一緒に食事をします。座席は奥のほうから順につめて座ってください。

③食事・野外炊飯用食材・弁当の提供時刻は以下のとおりです。

食事内容	館内食	野外炊飯用食材	弁当※3
朝食※1	7：30	6：15～	提供なし
昼食	12：00	9：30～	9:00～13:00
夕食	17：30	14：30～※2	17：00～

弁当の提供場所は食堂内のカウンター付近です。団体名の表示を確認の上、団体ごとお持ちください。

※1 11～3月の冬期間は、朝食が7：45となります。

※2 活動内容により食事提供時刻に間に合わない場合は、事前にご相談ください。

夏季の野外炊飯用食材(肉)の提供時間は食品衛生上15：00以降、もしくは調理直前をお願いいたします。

※3 昼食の弁当は、提供時刻を9：00～13：00の間で指定してください。

※4 朝食・昼食の時間については前後15分変更できる場合があります。相談は研修担当まで。

(2) 代表者打ち合わせへの参加

夜から翌朝にかけての活動について、確認したり活動時間の調整を図ったりするために、各団体の代表者による打ち合わせを行います。必ず参加してください。

◆時間 17：00～ 20分程度

◆場所 所長室または避難小屋

◆内容 ○食事や入浴の時間についての確認と調整
○夜から翌朝にかけての活動についての確認と調整
○夜間の緊急連絡、非常時の体制についての確認 等



(3) 入浴について

※施設運営上、10名未満の団体においてはシャワー対応となります。ご承知おきください。

ただし、他団体と合計10名以上となれば、大浴場の利用は可能となります。

①男女別の表示をよく確認のうえ、節水に心がけて利用してください。

②シャンプー・ボディシャンプーは備え付けてあります。

③入浴後は使用した洗面器をきちんと重ねて片付けてください。(椅子は重ねないでください。)

④脱衣所が汚れないように、身体をよく拭いてからあがるようにしてください。

⑤入浴時間は原則として19：30～21：00です。複数の団体が利用する場合は入浴時間を制限させていただく場合がございます。活動内容が入浴時間と合わない場合は、事前にご相談ください。

なお、安全上、浴室は22：10に施錠させていただきます。

⑥ドライヤーは所定の場所（脱衣所、各階洗面所において1つずつの使用）でお使いください。

(4) 清掃・ごみの処理

- ①活動終了時には、次に使う利用者のために、必ず活動場所の清掃をしてください。なお、館内泊の場合は原則として朝（7：00～）に宿泊部屋の清掃をしてください。
- ②清掃用具は各宿泊部屋にありますので、確認してください。
- ③利用者が持ち込んだものから出たごみは、持ち帰りをお願いします。
- ④宿泊部屋のごみ箱には可燃ごみのみ捨ててください。また、ごみ箱のごみは朝の清掃時に各団体が準備したごみ袋に捨ててください。

＜ ご ん の 処 理 方 法 ＞

活 動	ご ん の 種 類	処 理 の 方 法
野外炊飯 のごみ	生ごみ、食べ残し、紙類、アルミホイル、食品が付着したビニール（マヨネーズ等の袋）、わりばし、食品トレー、発砲スチロール、ポリ袋 等	各団体が準備した透明または半透明のごみ袋に入れて、当所のごみ収集所に出す。わりばしは、新聞紙にくるんで捨てる（ごみ袋が破れないように）。
自然の家 から提供 した弁当 のごみ	食べ残し、醤油やソース等の袋、かざり類、容器とふた、わりばし 等	厨房から提供するごみ袋にいれ、当所のごみ収集所に出す。食べ残しは新聞紙にくるんで捨てること。容器とふたは、種類ごとに重ねるなど、できるだけコンパクトにして袋に入れる。わりばしは、新聞紙にくるんで捨てる（ごみ袋が破れないように）。
	厨房から提供したペットボトル	ペットボトルと一緒に提供されるごみ袋に入れて、ごみ収集所に出す。（生ごみなどと分ける。）
クラフト 活動の ごみ	削りかす、木片、紙くず 等	各団体が準備したごみ袋にまとめるなどして、事務室わきのごみ箱に分別して捨てる。
宿泊棟の ごみ	ほこり、紙くず、ちり紙 等	各部屋のごみ箱、各団体が準備したごみ袋にまとめるなどして、ごみステーションに運んでください。

(5) 健康・安全管理

- ①健康面で心配な利用者がある場合は、事前にご相談ください。また、アレルギー等で食事制限の必要がある場合は必ず事前に申し出てください。なお、除去食・代替食については限界があり、対応できかねる場合がございますので、ご了承ください。
- ②負傷者や発病者が発生し、保健室の利用が必要な場合は、直ちに事務室（内線12）まで連絡してください。夜間は舎監室（内線15）に連絡してください。
- ③体調不良者等が出た場合、保健室の利用も可能です。エアコンも設置されております。
- ④非常時の避難経路、避難場所等を必ず確認してください。なお、火災等により避難の必要が生じた場合は、緊急非常放送によりその旨を連絡します。落ち着いて放送の指示に従ってください。各団体の指導者・引率者は、利用者の避難・誘導にご協力ください。
- ⑤敷地内全面禁煙です。活動エリアもすべて禁煙です。ご協力をお願いします。
- ⑥衛生管理上、宿泊部屋での飲食は厳禁とさせていただきます。
- ⑦研修生入口は22：30に施錠します。それ以降の出入りはご遠慮ください。
- ⑧23：00に消灯していただきますようお願いいたします。

3 退所にあたって

※原則、退所は8:30以降となります。

清掃・シーツ類の返却（宿泊された場合のみ） ※返却は翌朝9:00までお願いします

宿泊された場合は、使用した部屋を清掃して所員の点検を必ず受けてください。（8:40以降）また使用したシーツは下記のようにして返却してください。

- ◆館内泊 …………… 部屋ごと緑色の袋に入れてリネン室前の返却場に返却する。
- ◆テント泊 …………… テント班ごと緑色の袋に入れてリネン室前の返却場に返却する。

利用料金等の支払い ※施設利用期間内9:00~17:00の間をお願いします

原則として現金でお支払いください。事務室にて庶務係が対応します。

利用団体カード、アンケート等の提出 ※退所前に必ず提出してください

わかれのつどい

閉会行事として「わかれのつどい」の時間を必ず設定してください。各団体で企画・進行をお願いします。校旗・団旗等を掲揚している場合は、この時点で降納してください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 例 ①開会のことば | ④自然の家所長あいさつ |
| ②ふりかえり・感想発表 | ⑤利用者代表のあいさつ |
| ③団体代表者のお話 | ⑥閉会のことば |

「わかれのつどい」の中に④は必ず設定してください。

～自然の家での生活・活動例（1泊2日館内泊の場合）～

< 1 日 目 >

時刻	活動内容
10:00	入所・であいのつどい
10:30	追跡ハイキング 等
12:00	昼食（持参弁当） ～13:00
13:00	フィールドアスレチック 等
14:00	野外炊飯準備
15:00	食材提供
16:30	夕食（野外炊飯） ～17:15
17:00	代表者打ち合わせ
17:15	後片付け
18:00	ベットメイキング
19:00	キャンプファイアー
20:30	入浴
21:30	ふりかえり・反省会
22:00	就寝

< 2 日 目 >

時刻	活動内容
6:00	起床・寝具整理
6:45	朝のつどい・体操
7:00	宿泊部屋の清掃
7:30	朝食（館内食） ～8:30
8:40	宿泊部屋点検
9:00	（昼食弁当受取）
9:10	追跡ハイキング （活動中に野外で昼食）
12:30	本館集合、片づけ、帰り支度
13:00	わかれのつどい・退所



IV 活動展開例

IV-1 館内泊

飯豊少年自然の家には館内に200名が宿泊可能です。宿泊することで、時間的なゆとりが生まれるだけでなく、夜間の活動も可能になります。また、仲間と一緒に過ごす夜は一人ひとりの思い出をよりいっそう深めてくれることでしょう。

- ねらい 集団宿泊体験を通して規則正しい生活習慣を身につけ、仲間との団結力を高める。
- 宿泊場所（位置関係については資料-9「館内平面図」参照のこと）

< 1 F >

種類	部屋名	定員
和洋室	たけとり	8名
洋室	あかおに	16名
洋室	てんぐ	16名
洋室	こぶとり	16名
洋室	さるかに	16名
和室	リーダー室1	2名

< 2 F >

種類	部屋名	定員
洋室	まつかさ	16名
洋室	かやのみ	16名
洋室	いがぐり	16名
洋室	どんぐり	16名
和室	吾妻	14名
和室	眺山	14名
和室	葉山	14名
和室	朝日	14名
和室	リーダー室2	2名
和室	リーダー室3	4名

- 対象 幼児から一般まで ※ 施設運営上、少人数の場合は食事やお風呂の提供ができない場合もございますのでご承知おきください。また、事前に問い合わせのうえ、宿泊の可否確認をお願いします。

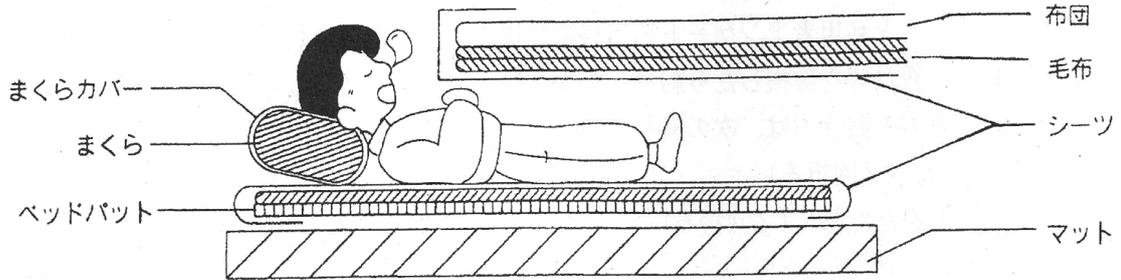
4 館内泊の留意点

- ◆ベッドメイキングは、利用者各自で行っていただきます。ベッドメイキングの仕方については、所員からの説明の時間を設定するか、事前にホームページ内の研修動画をご覧ください。
- ◆寝具の片付けも利用者が自分で行ってください。寝具のたたみ方に気をつけ、元と同じように整理整頓をお願いします。
- ◆退室前には宿泊室内の清掃を必ず行ってください。特にベッドの下部にほこりがたまりますので、気をつけてください。清掃後に研修担当が点検させていただきます。
- ◆清掃用具の場所は室内に表示されています。使い終わったら元と同じように片付けてください。
- ◆原則としてごみはお持ち帰りをお願いします。特に、缶、ビンやペットボトル等の不燃ごみはごみ箱に捨てないでください。
- ◆宿泊部屋にのみごみ箱を設置しております。ごみ箱のごみは、清掃時に各団体で持参した袋にまとめ、ゴミステーションに運んでください。
- ◆リーダー室以外の宿泊部屋には、コンセントはありません。
- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。
- ◆非常時の避難経路を必ず確認してください。なお、火災等により避難の必要が生じた場合は、緊急非常放送によりその旨を連絡します。落ち着いて放送の指示に従ってください。各団体の指導者・引率者は、利用者の避難・誘導にご協力ください。
- ◆敷地内全面禁煙です。館内はもちろんのこと活動エリアはすべて禁煙です。ご協力のほどお願いします。
- ◆衛生管理上、宿泊部屋での飲食は厳禁とさせていただきます。
- ◆研修生入口は22：30に施錠します。それ以降の出入りはしないでください。

資料 ベッドメイキングと後片付け（※ホームページに動画資料がございます）

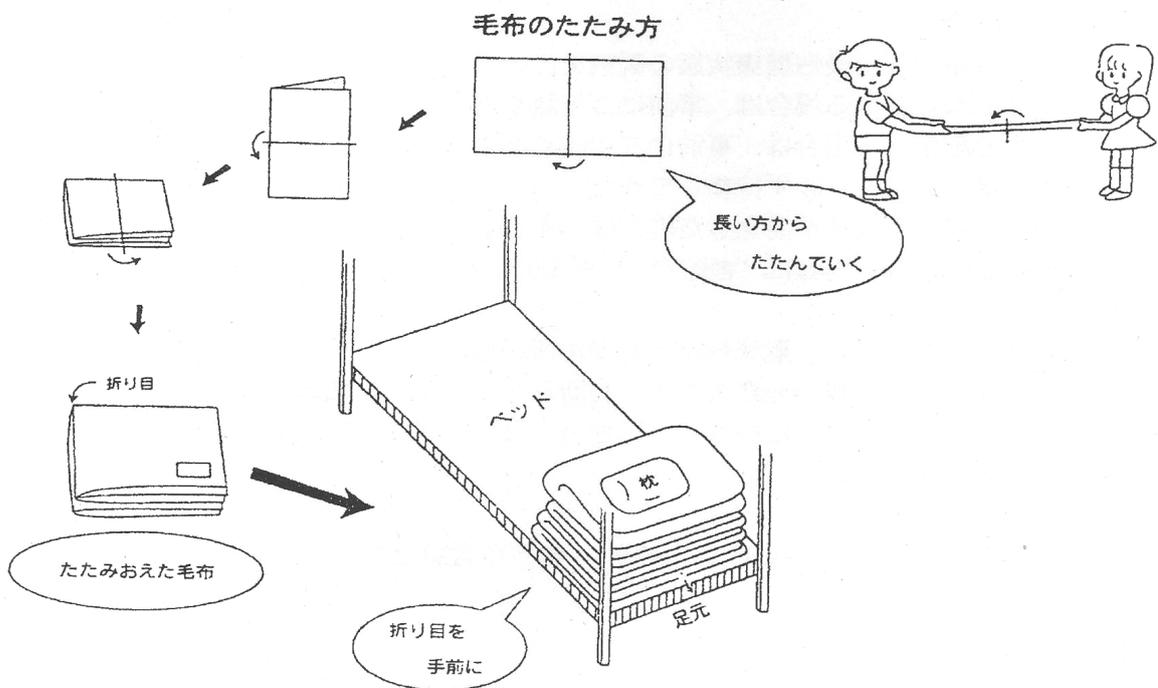
1 ベッドメイキング

- ①マットレスの上にベッドパットを敷く。
- ②ベッドパットの上にシーツを1枚敷き、端を折り返す。
- ③その上にもう1枚のシーツ、毛布（必要に応じて）、掛け布団（必要に応じて）を敷く。
- ④2枚目のシーツの顔があたるほうを折り返す。
- ⑤枕に枕カバーをつける。
- ⑥シーツとシーツの間に入って寝るようになる。



2 後片付け

- ①枕カバー、シーツ2枚を取り除く。
- ②枕カバー、シーツは部屋ごと銀色の袋に入れて返却する。
- ③掛け布団とマットレスは2回、毛布とベッドパットは長い辺を3回折りたたみ、折り目が手前になるようにして元と同じように重ねる。



IV-2 テント泊

キャンプといえばテント泊。野外で過ごす一夜には、夜の静けさや風にゆれる木々のざわめき、動物や虫の鳴き声など、日常生活では味わうことのできないすばらしい経験が待っています。仲間と語りながら過ごした時間は、心に残る大切な思い出をもたらしてくれることでしょう。

- 1 **ねらい**
 - 野外での宿泊体験を通して日常生活の利便性について考えるとともに、自然の美しさや厳しさを感じながら自然に親しむ。
 - テントの設営や撤収などの協同作業を通して、野外生活への意欲を高めるとともに、互いに協力することの大切さに気づく。
- 2 **活動場所**
 - まつかさテントサイト（20張）
 - くりの木テントサイト（20張）
- 3 **所要時間**
 - 用具準備～設営まで→2～2.5時間
 - 撤収～用具収納まで→1～1.5時間
- 4 **対象**
 - 希望される団体全て（ただし、利用にあたってはホームページの動画資料を参考とすること。出前講座や貸出による事前練習については要相談）
- 5 **実際の活動**

(1) 用具の準備

テント用具は以下の場所に保管してあります。「テント用具・点検カード」をご覧ください、点検・確認しながら各団体でご準備ください。

型	ドームテント（6人用・5人用）
特性	家庭用にも普及しているドーム型のテント。設営が比較的簡単で、居住性に優れている。
備	どろんこ広場内テント倉庫
必要物品	<ul style="list-style-type: none"> ・テント本体、フライシート（1セット） ・ポール（3本一組） ・グランドシート ・ペグ（12本） ・金づち（2本） ・銀マット（2または3枚）

(2) 設営

- ①設営場所やその付近に、蜂の巣、鋭利な石などがいないか、安全を確認する。
- ②テントを設営する場所をできるだけ平らにし、日陰、風向きなどを考えてテントの向きを決める。
- ③テントを設営する。設営方法の詳細については次ページ以降を参照のこと。

(3) 撤収

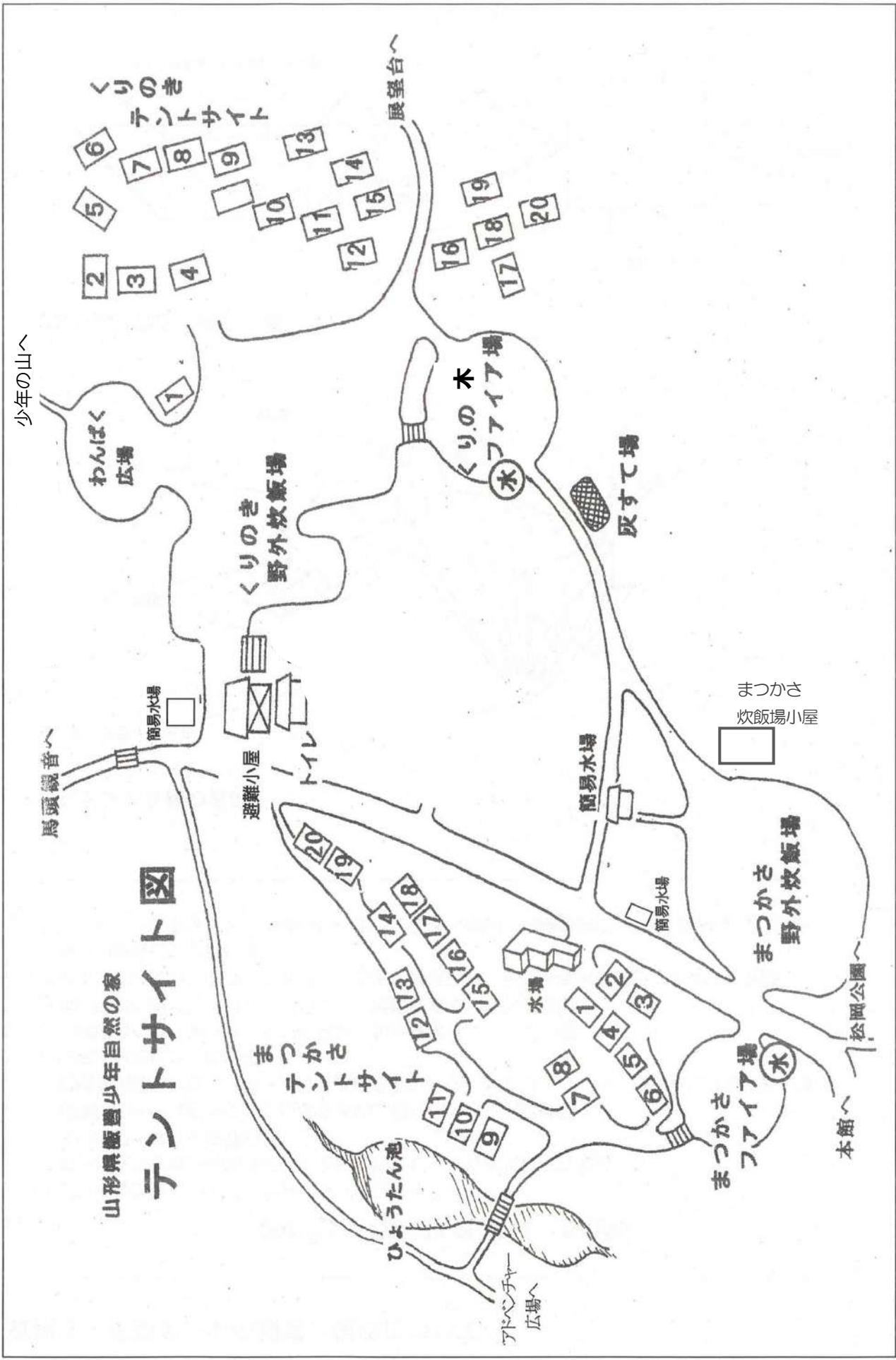
- ①撤収を始める前にテント入口を開放し、日光に当てるなどして湿気を取るようにする。
- ②テント内から荷物を全て出す（忘れ物のないようにつける！）。
- ③テント内のごみを拾い、清掃する（次の人が気持ちよく使えるように！）。
- ④テントを撤収する。撤収方法の詳細については次ページ以降を参照のこと。

(4) 用具の返却

返却時にたたみ方や汚れなどを確認しますので、必ず所員をお呼びください（内線13）。汚れがひどい場合は、その後の活動を変更していただき、洗う・拭く・干すなどの活動をしていただく場合がありますのでご承知おきください。

6 指導上の留意点

- ◆始める前に、必ず道具がそろっていることを確認してから、テントの設営をおこなってください。
- ◆例年、テント内に忘れ物が多いようです。各団体で撤収時に再度忘れ物がないか確認してください。
- ◆破損や紛失した場合は所員に必ずお申し出ください。
- ◆テントの汚れを拭くためのぞうきは、各団体で必ず準備してください。



山形県飯豊少年自然の家
テントサイト図

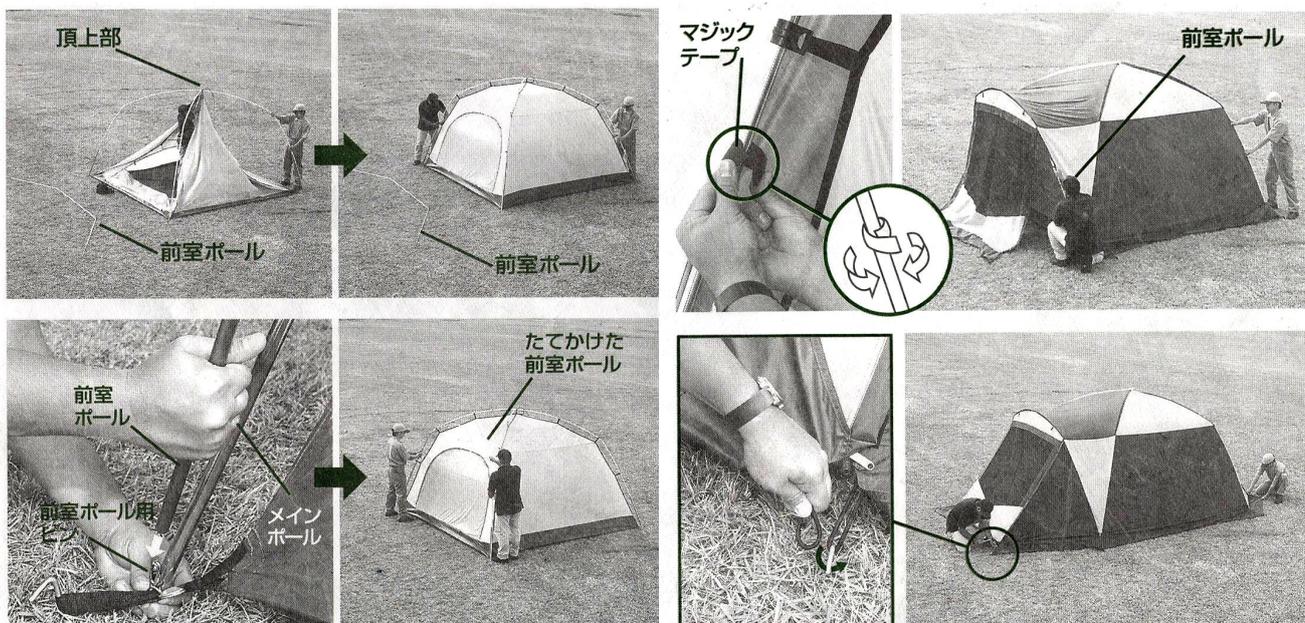
資料【ドームテントの設営と撤収について】（ホームページに動画資料がございます）

ドームテントの設営手順（約1時間）

- ①グランドシートを敷き、テント本体を広げる。
- ②2人組で端に気をつけながらメインポールを組み立てていく。
- ③メインポール（2本）をテント上で交差し、四隅にあるピン（大）をポールに差し込む。
※5人用はポールがすでに一体化されているので、組み立ての際に交差させる必要はない。
- ④入口のファスナーを閉め、ポールにフックをかけていく（頂上部から下のほうに）。
- ⑤入口を決め、前室ポール（下部が青いもの）にピン（小）を差し込み、たてかけておく。
- ⑥四隅のループにピンを打ち込み、テントを固定する。
- ⑦フライシートを本体にかぶせ、裾部のSフックをテント本体四隅のリングに引っ掛ける。
- ⑧フライシート内側のマジックテープをすべてポールに巻きつけて固定する。
- ⑨フライシートをペグで固定する。

テント本体にポールを固定する（手順③～⑤）

フライシートを固定する（手順⑥～⑨）

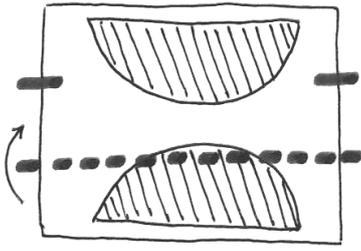


ドームテントの撤収手順（約30分）

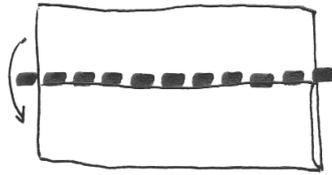
- ①設営時と逆の順にペグを抜いていく。
- ②抜いたペグは泥を落とし、数を確認してすぐに袋に入れる。けっして地面には置いておかないこと。
- ③マジックテープをはがし、フライシートをはずす。
- ④入口のファスナーを全開し、テント内のごみを出す。
- ⑤入口のファスナーは開けたまま、フックをはずす（下から頂上部のほうに）。
- ⑥2人組になってポールの両端からたたみ、収納袋に入れる。
- ⑦泥や汚れを落とし、グランドシート・テント本体・フライシートをたたむ。※21ページの図参照
- ⑧テント本体・フライシートを収納バックに入れる。（5人用はポールも一緒に入れる）

テント本体

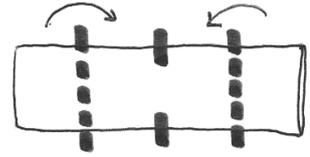
① 3等分になるようにたたむ



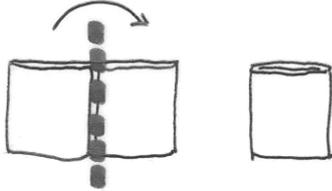
② さらにもう一度たたむ



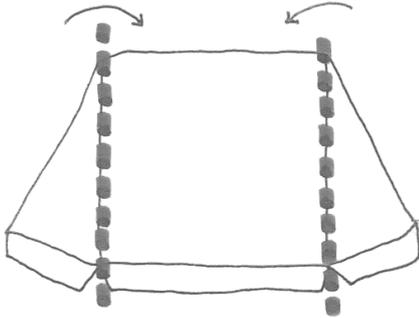
③ 両端を真ん中にたたむ



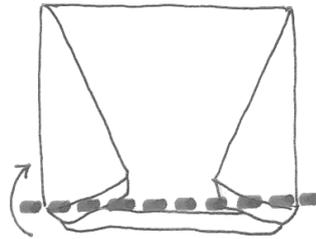
④ さらにもう一度たたむ



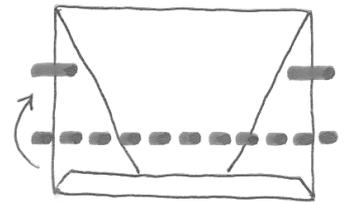
① 台形になるように広げて両端を内側にたたむ



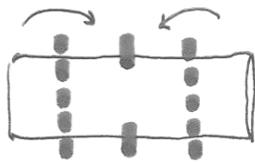
② 裾を内側にたたむ



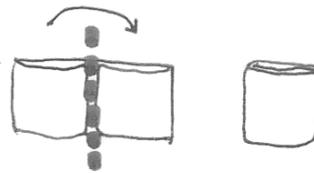
③ 3等分になるようにたたむ



④ 両端を真ん中にたたむ

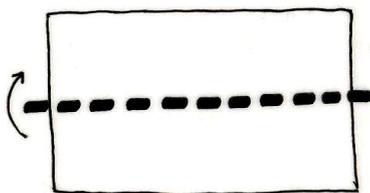


⑤ さらにもう一度たたむ (5人用の場合はたたむ向きに注意)

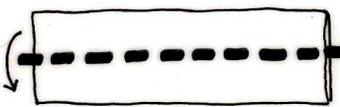


グラウンドシート

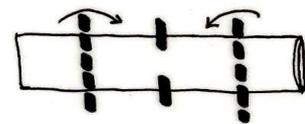
① だろやほこりをとって真ん中からたたむ



② さらにもう一度たたむ



③ テントと同じようにたたむ



IV-3 野外炊飯

自分たちでつくり、野外で食べるご飯は最高の味わいです。煙たさに耐えながら火をおこしたり、薪を使って煮炊きしたりする体験は、日常生活の中ではなかなかできないことでしょう。仲間と協力してつくった野外炊飯の活動は、一生心に残るすばらしい思い出となるはずです。

- 1 **ねらい** ○野外での炊飯活動を通して、火のおこし方、調理方法などを身につける。
○仲間との協同作業を通して、野外生活への意欲を高めるとともに、互いに協力することの大切さに気づく。
○ゴミの始末や後片付けを行い、自然環境の保護や資源の有効利用について考える。

2 **活動場所** まつかさ野外炊飯場、くりの木野外炊飯場 等 ※雨天時はどろんこ広場や本館軒下

3 **所要時間** 用具準備～調理～後片付けまで 3. 5時間～4時間程度

4 **対象** 希望される団体全て (ただし、利用にあたってはセミナーの受講が必須)

5 実際の活動

(1) 用具の準備

炊飯用具は以下の場所に保管してあります。入所事務の際にお渡しする「野外炊飯カード」で点検・確認しながら各団体でご準備ください。

自然の家から提供できる物	【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○リヤカー (要事前申込)	【食堂外軒下】	●ごみ袋 (透明または半透明の物) ※「置賜指定可燃ごみ袋」は使用できません。業務用として一般的に販売されている透明または半透明のごみ袋をご準備ください。 ●洗剤、金だわし、スポンジ、ふきん、古新聞など ※自然環境への影響を考慮し、 <u>合成洗剤やクレンザーを使用しないでください</u> 。天然成分でつくられた洗剤 (当所で販売幹旋しています) をお使いください。
○炊飯用薪 (要事前申込)	【事務室外】	
○なた (要事前申込)	【事務室前の棚】	
○液体洗剤 (要事前申込)	【事務室前の棚】	
○マッチ	【事務室前の棚】	
○野外炊飯コンテナ (炊飯用具一式)	【炊飯倉庫】	
○食器類 (平皿・お椀など)、スプーン	【炊飯倉庫】	
○なべ (大と小あり)	【炊飯倉庫】	
○鉄板、フライパン、フライ返し	【炊飯倉庫】	
○テーブル、椅子	【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	
○炊飯用一斗缶	【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	
○スコップ、一輪車	【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	

(2) 食材の提供

- ①野外炊飯のメニュー (P 6 参照) を選び、利用日の3週間前まで申し込んでください。1回の食材提供で複数のメニューを希望する場合は、1メニュー20人以上、3メニュー以内とさせていただきます。
- ②食材には生ものも含まれています。炎天下の運搬や調理中の管理には充分ご留意ください。
- ③決められた食材提供時刻に厨房の外にある搬入口 (事務室前駐車場付近) からコンテナに入った食材を各団体で搬出してください。

食材提供時刻 朝食 6 : 15 昼食 9 : 30 夕食 14 : 30

※夏季の肉の提供時間は15 : 00、もしくは調理直前となります。ご了承ください。

(3) 野外炊飯

- ①リヤカーなどを利用し、必要な炊飯用具や食材を野外炊飯場まで運搬します。
- ②水場の準備をします。水場の使い方については次ページを参照してください。
- ③炊飯場所の準備をします (テーブル、いす、一斗缶等)。
- ④食材を各班の人数に合わせて分け、炊飯活動を始めます。



IV-4 ハイキング（自然散策）

最も手軽に取り組むことができる野外活動プログラムです。飯豊少年自然の家のハイキングコースは昔から地元の人々に利用されてきた山道ですので、安全に自然散策を楽しむことができます。展望台からは長井葉山・朝日連峰、遠くは蔵王連峰まで見わたすことができます。

- 1 **ねらい** 自然の家のハイキングコースを歩き、植物や昆虫などを観察したり、景色を眺めたりしながら自然に親しむ。
- 2 **活動場所** 飯豊少年自然の家ハイキングコース
- 3 **所要時間** 1時間～3時間程度（活動時間に合わせて設定可）
 例1；大外回りコース ポイントA→B→C→D→E→F→G（約70分）
 例2；展望台コース ポイントi→M→k→N→W（約20分）
- 4 **対象** 幼児から一般まで

5 実際の活動

(1) コース設定

コースは各団体の活動時間に合わせて設定できます。あせらずゆったりと活動することができるように2～3時間は時間を確保したいところです。以下のような活動のポイントを確認してから取り組むことが大切です。

春～秋；展望台から見る飯豊町の田園風景・みはらし峠から見る風景・植物や昆虫の観察
 秋～冬；動物の足跡探索、冬芽や葉痕の観察 ※冬はかんじきやスノーシューを履いて楽しんでください。

(2) 地図の読み取り方の説明

各団体の指導者から地図の読み取り方を説明してください。

(3) ハイキング開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

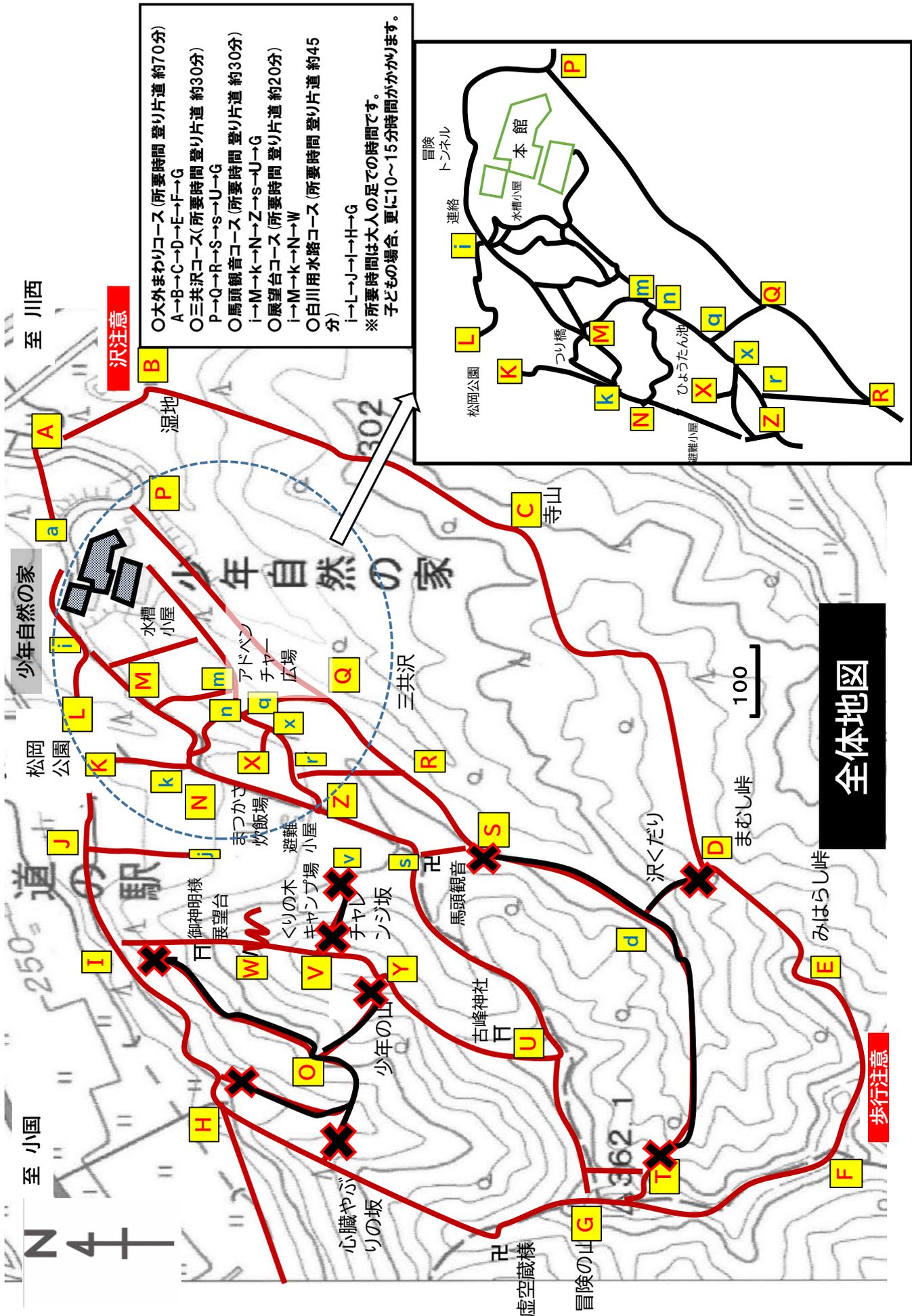
- ・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
- ・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
- ・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
- ・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

6 準備物

自然の家から提供できる物	【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○ハイキングコース地図	【事務室前の棚】	●救急薬品 ●水筒 等

7 指導上の留意点

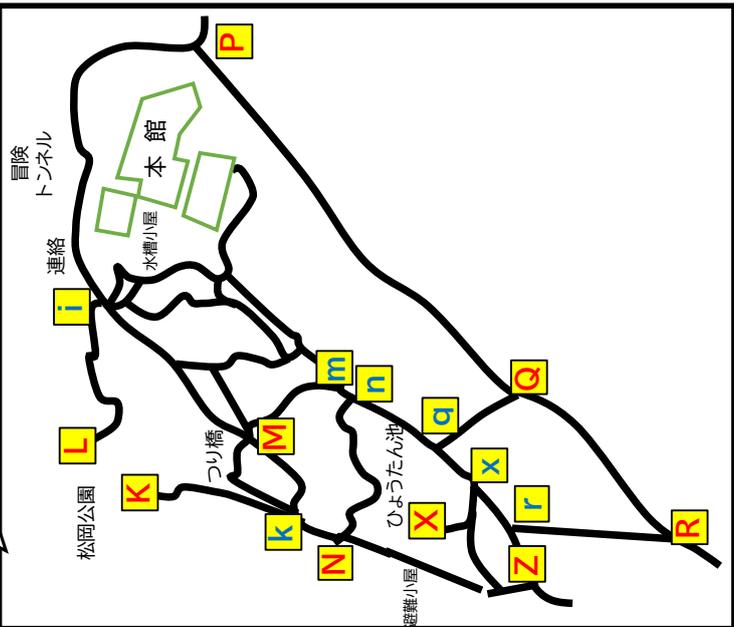
- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。



至 川西

注意

- 大外まわりコース(所要時間 登り片道 約70分)
A→B→C→D→E→F→G
 - 三共沢コース(所要時間 登り片道 約30分)
P→Q→R→S→s→U→G
 - 馬頭観音コース(所要時間 登り片道 約30分)
i→M→k→N→Z→s→U→G
 - 展望台コース(所要時間 登り片道 約20分)
i→M→k→N→W
 - 白川用水路コース(所要時間 登り片道 約45分)
i→L→J→i→H→G
- ※所要時間は大人の足のでの時間です。
子どもの場合、更に10～15分時間がかかります。



全体地図

歩行注意

IV-5 追跡ハイキング

追跡ハイキングは、地図をもとにしてポイントを“追跡”し、ゲーム感覚で楽しむハイキングです。仲間と協力して問題文を解読したり、自然の中にかくれているポイントを探しあてたりする楽しさがあり、子どもたちの人気が高い活動プログラムの一つです。

1 **ねらい** 野山に配置されたポイントを探したり問題を解決したりしながら、ハイキングを行い、自然に親しむ。

2 **活動場所** 飯豊少年自然の家ハイキングコース

3 **所要時間** 2時間～3時間程度（活動時間に合わせて設定可）

4 **対象** 小学校中学年以上

5 **実際の活動**

(1) コース設定

探すポイントを予め決めたり、定められた時間内にできるだけ多くのポイントを探したりする等、各団体の活動時間に合わせて設定できます。全ポイントを探すのであれば3時間程度は必要です。

(2) 追跡ハイキングの説明

各団体の指導者から、地図の読み取り方や追跡ハイキングの方法を説明してください。

- ①地図をもとにしてポイントを探す。
- ②ポイントにある問題文を解読する（問題文は数字になっているので解読表で五十音に変換）。
- ③問題の答えまたは指示に従った結果を解答用紙に記入する。

(3) 追跡ハイキング開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

- ・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
- ・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
- ・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
- ・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

(4) 追跡ハイキング終了

解答用紙を回収して採点します。全体が終了したら結果を発表してください。

<問題文の例>

ついで			
21			
10	25	7	25
21	31	4	50
6	9		

解読すると……

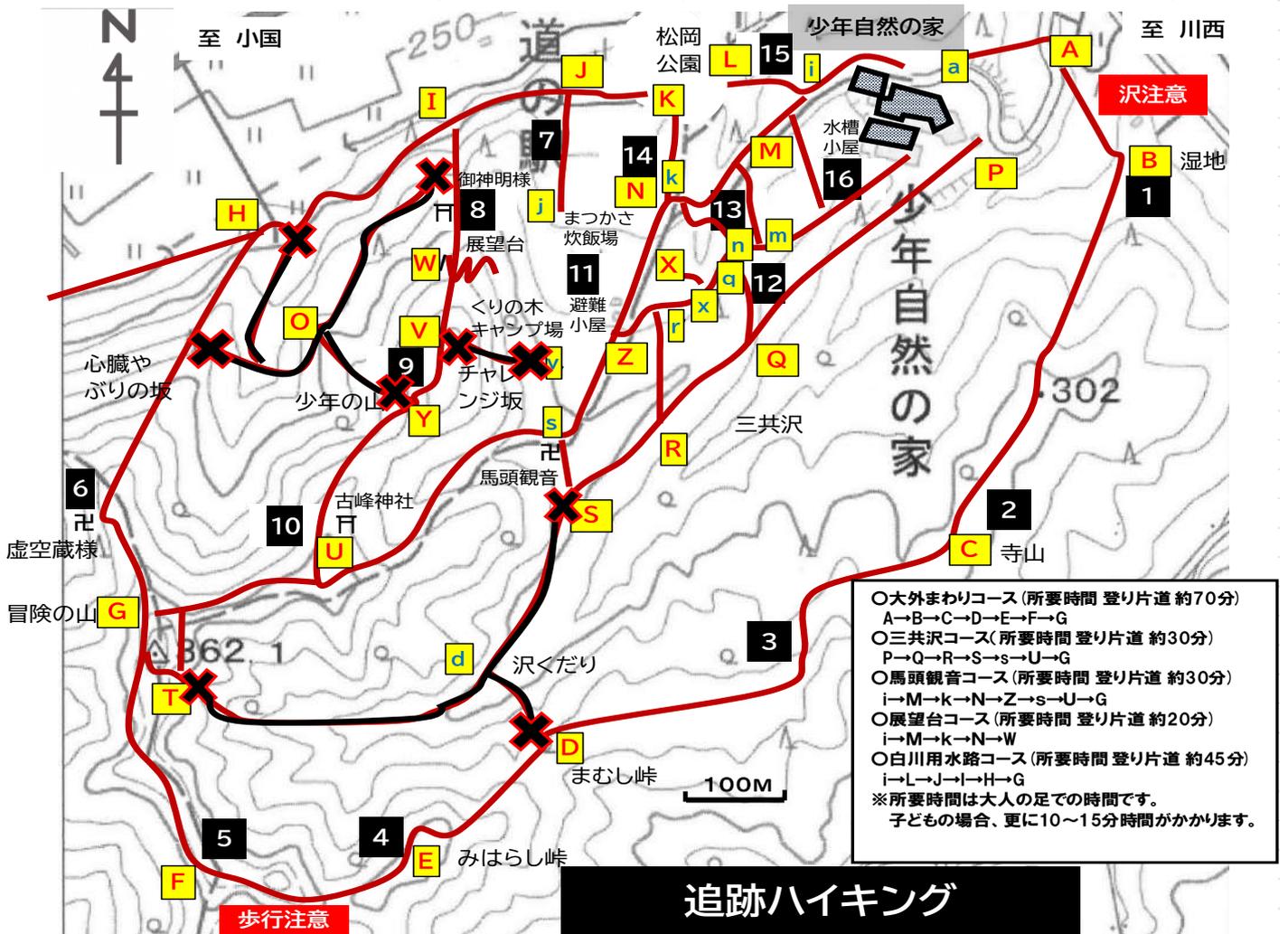
「このきのなまえをかけ」
となります。

6 準備物

自然の家から提供できる物	【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○追跡ハイキングコース地図	【事務室前の棚】	●救急薬品
○指導者用解答	【事務室前の棚】	●水筒 等
○解答用紙（返却の必要なし）	【事務室前の棚】	

7 指導上の留意点

- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。



○大外まわりコース(所要時間 登り片道 約70分)
 A→B→C→D→E→F→G
 ○三共沢コース(所要時間 登り片道 約30分)
 P→Q→R→S→s→U→G
 ○馬頭観音コース(所要時間 登り片道 約30分)
 i→M→k→N→Z→s→U→G
 ○展望台コース(所要時間 登り片道 約20分)
 i→M→k→N→W
 ○白川用水路コース(所要時間 登り片道 約45分)
 i→L→J→I→H→G
 ※所要時間は大人の足での時間です。
 子どもの場合、更に10~15分時間がかかります。

追跡ハイキング

追せきハイキング 問題文解読表

1=あ	2=い	3=う	4=え	5=お
6=か	7=き	8=く	9=け	10=こ
11=さ	12=し	13=す	14=せ	15=そ
16=た	17=ち	18=つ	19=て	20=と
21=な	22=に	23=ぬ	24=ね	25=の
26=は	27=ひ	28=ふ	29=へ	30=ほ
31=ま	32=み	33=む	34=め	35=も
36=や		38=ゆ		40=よ
41=ら	42=り	43=る	44=れ	45=ろ
46=わ				50=を
51=ん	・ だく点	・ 半だく点	- のぼす	

問題文の数字をひらがなに読みかえて
問題を解いていこう!

追跡ハイキング 指導者用カード

ポイント	問題文	答え
1	「自然の家」に ^つ 繞くしりとりを三つ書け。	例 えき→きり→りす
2	この木の葉をスケッチせよ。	ナナカマドのスケッチ
3	自然の家の方角は?地図を見よ。	北(北東)
4	みんなで声を合わせヤッホーと叫べ。	指示に従えば○
5	ゴミが落ちていたら拾ってね。	指示に従えば○
6	この木に ^ふ 触れた ^{かんじ} 感を ^か 書け。	例 ザラザラなど
7	面白い形の ^{しぜん} 自然の物を拾え。	指示に従えば○
8	自然を ^こ 題にした詩を書け。	指示に従えば○
9	この ^{しよくぶつ} 植物の名前は何か。	(エゾ)ユズリハ
10	この場所の ^{ちず} 地図記号を書け。	神社の記号ならば○
11	^{しぜん} 避難小屋にあるなぞなぞを解け。	チーズ
12	この木の名前は何か。	ホオノキ
13	まわりの自然の中にある色を三つ書け。	例 緑・茶など
14	この公園の名前は何か。	松岡公園
15	^{しよくぶつ} 植物の名前を三つ書け。	例 松・タンポポなど
16	みんなで大きな声で歌を歌え。	指示に従えば○

※種ごとに使用した地図(表は問題文解読表)と一緒にこのカードもお返しく下さい。

IV-6 ネイチャーウォークラリー

ネイチャーウォークラリーは、地図に示されたポイントを探しあて、実際にその場所に行かないと解答できない自然に関する問題や地形を利用した課題に挑戦するウォークラリーです。「知力」「体力」そして仲間との「協力」が重要となります。ゲーム感覚で楽しみながら自然を体感できることでしょう。

- 1 **ねらい** 野山に配置されたポイントを探したり問題を解決したりしながらウォークラリーを行い、自然に親しむ。
- 2 **活動場所** 飯豊少年自然の家ハイキングコース
- 3 **所要時間** 2時間～3時間程度（活動時間に合わせて設定可）
- 4 **対 象** 小学校中学年以上

5 実際の活動

(1) コース設定

探すポイントを予め決めたり、定められた時間内にできるだけ多くのポイントを探したりする等、各団体の活動時間に合わせて設定できます。全ポイントを探すのであれば3時間程度は必要です。

(2) ネイチャーウォークラリーの説明

各団体の指導者から、地図の読み取り方やネイチャーウォークラリーの方法を説明してください。

- ①地図をもとにしてポイントを探す。
- ②ポイント付近で問題の答えを探したり課題に挑戦したりする。
- ③問題の答えまたは課題に挑戦した結果を解答用紙に記入する。

(3) ネイチャーウォークラリー開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

- ・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
- ・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
- ・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
- ・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

(4) ネイチャーウォークラリー終了

解答用紙を回収して採点します。全体が終了したら結果を発表してください。

6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○ネイチャーウォークラリー地図 【事務室前の棚】	●救急薬品
○指導者用解答 【事務室前の棚】	●水筒 等
○解答用紙（返却の必要なし） 【事務室前の棚】	

7 指導上の留意点

- ◆携帯電話はほとんどの場所ですが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。
- ◆指導者による事前調査が必要な課題がありますので、ご承知おきください。

IV-7 グリーンアドベンチャー

グリーンアドベンチャー（GA）とは、設定されたコースを歩きながら、標識の設置してある植物の名前をあてていく野外活動プログラムです。ゲーム感覚で楽しみながら植物の名前を覚えていくことができます。自然に親しむ良いきっかけとなることでしょう。

1 **ねらい** 仲間と協力して標識を探し、植物の特徴について調べることで、コースを楽しく歩きながら自然に親しむ。

2 **活動場所** 飯豊少年自然の家ハイキングコース

3 **所要時間** 1. 5時間～2時間程度（活動時間に合わせて設定可）

4 **対象** 小学生以上

5 実際の活動

(1) グリーンアドベンチャーの説明

各団体の指導者から、地図の読み取り方やグリーンアドベンチャーの方法を説明してください。

- ①地図をもとにしてGA用標識を探す。
- ②標識を見つけたら、標識の設置してある植物の名前をシルエットカードで調べる。
- ③植物の名前をカードに記入する。

(2) グリーンアドベンチャー開始

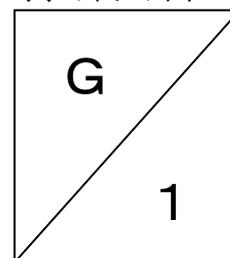
数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

- ・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手等）のチェック
- ・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
- ・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
- ・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

(3) グリーンアドベンチャー終了

カードを回収して点検します。全体が終了したら結果を発表してください。

<GA用標識>
グリーンアドベンチャー

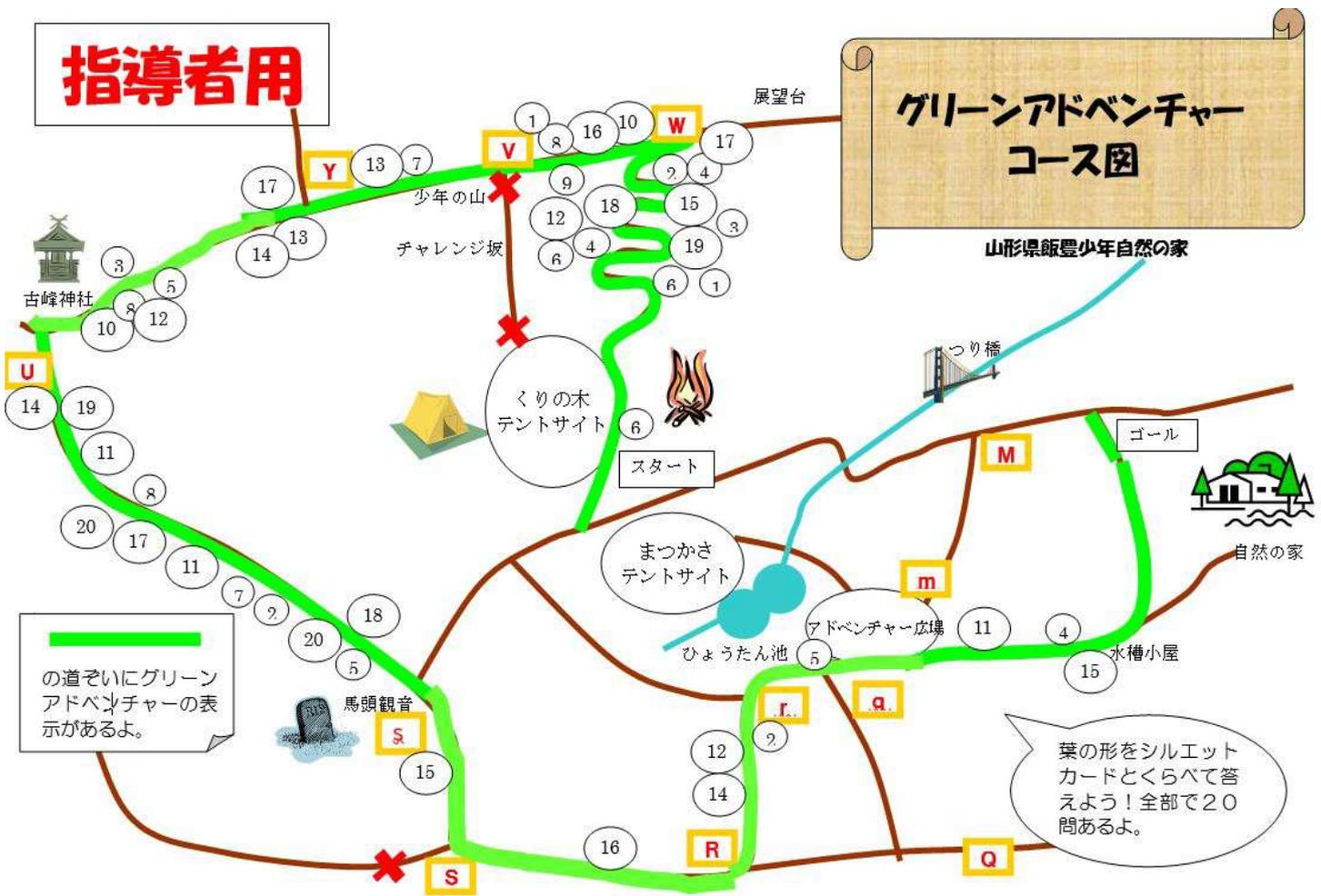
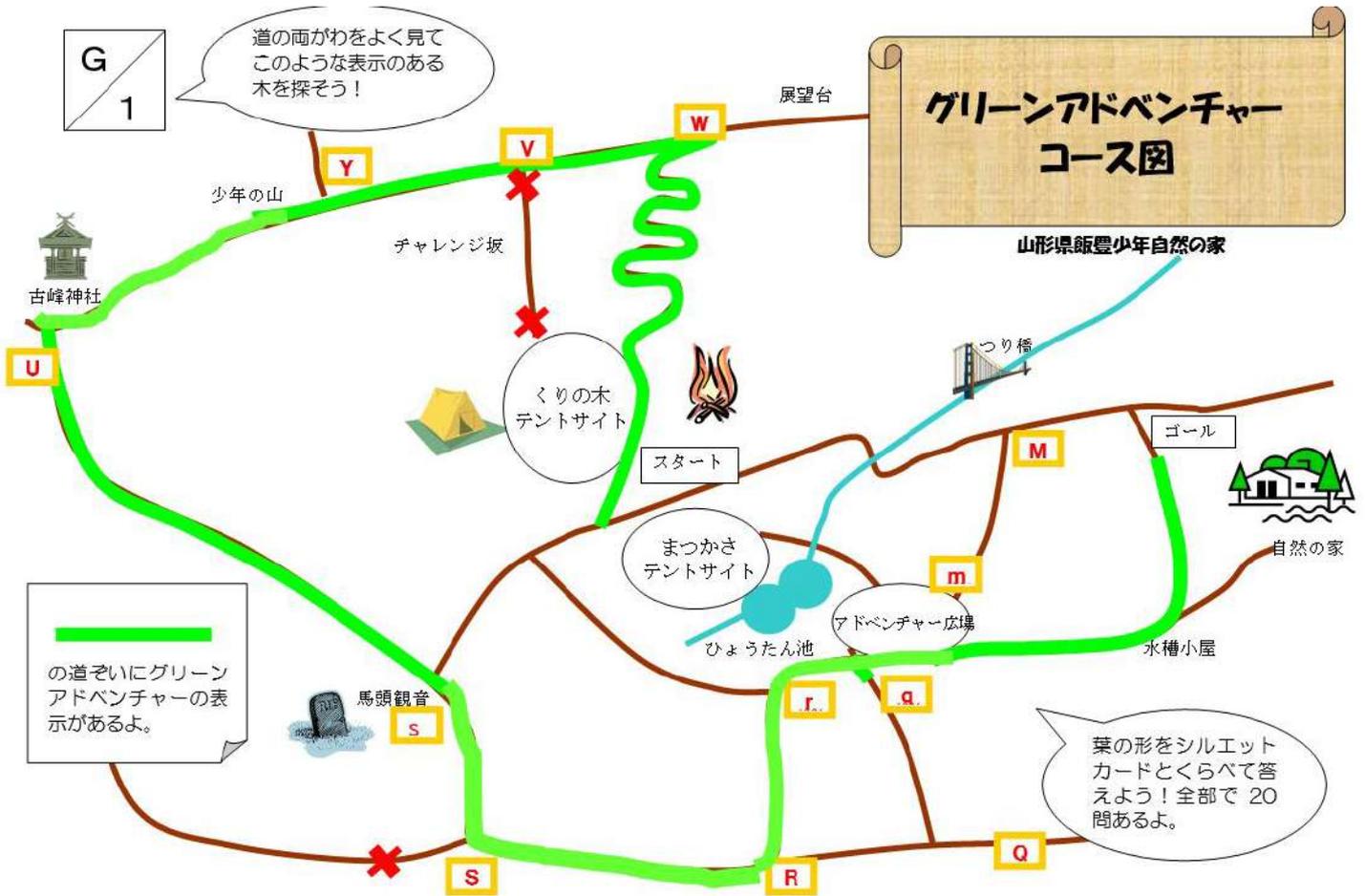


6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○グリーンアドベンチャー地図 【事務室前の棚】	●救急薬品
○指導者用解答 【事務室前の棚】	●水筒 等
○観察カード（解答用紙） 【事務室前の棚】	

7 指導上の留意点

- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。
- ◆誤って進まないように、以下の地点に関門員を配置することをおすすめします。
展望台付近、古峰神社下の冒険の山に向かう分岐点、道標 P、道標 S、道標 s、道標 R



IV-8 フィールドアスレチック

コース内に自然木や廃材・ロープなどを使って楽しいアスレチックを設置しています。幼児から大人まで誰でも手軽に楽しむことができます。自然の中で思いっきり体を動かしてください。ただし無理は禁物です。あくまでも自分の力に合わせて障害物を克服していきましょう。

- 1 **ねらい** 野山に設置されたアスレチックに挑戦し、自分の力に合わせて障害物を克服したり、体を動かしたりして楽しむ。
- 2 **活動場所** 飯豊少年自然の家アスレチックコース
- 3 **所要時間** 30分程度（多人数の場合はこの限りではない）
- 4 **対象** 幼児から一般まで



5 実際の活動

(1) 順序

- ①冒険トンネル→②連絡橋→③丸太わたり→④ネットわたり
→⑤ロープわたり→⑥ネット越え→⑦つり橋

(2) フィールドアスレチックの開始

以下の点について必ず事前指導をお願いします。

- ・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下くるぶしが隠れるものが望ましい）等のチェック
- ・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
- ・前の人を押したりしないこと
- ・②、④、⑤、⑦は前の人が進んでから次の人がスタートすること
- ・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

※安全確認のため、当日、所員による点検を行ってから利用が可能になります。

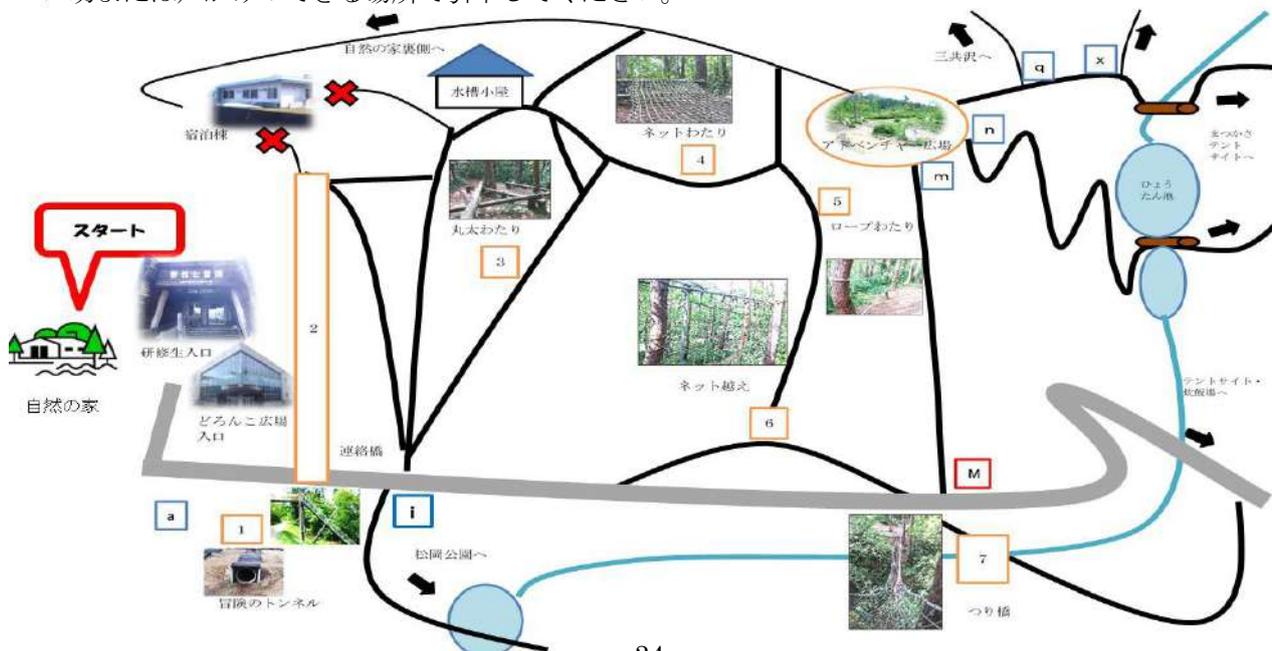
※天候によって利用ができない場合もあります。

6 準備物

自然の家から提供できる物	【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○フィールドアスレチック地図	【事務室前の棚】	●救急薬品

7 指導上の留意点

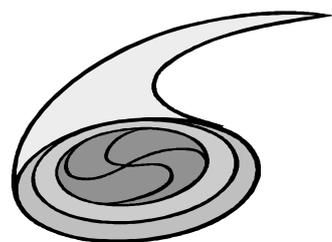
- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆必ず事前にコースの下見を行い、安全面や実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。
- ◆高所での活動や不安定な場所での活動も多いので、利用者が安全に活動できるように、指導者は常に補助または声がけのできる場所で引率してください。



IV-9 フライングディスクゴルフ

誰でも楽しむことができるフライングディスクを使った野外活動プログラムです。ゴルフと同様に、ホールにフライングディスクをできるだけ少ないスコアで入れてください。子どもから大人まで、またグループ同士でも手軽に楽しむことができます。

- 1 **ねらい** フライングディスクをホールにめがけて投げ、できるだけ少ないスコアで入れることができるように競い合ってみる。
- 2 **活動場所** 本館周辺
- 3 **所要時間** 1時間程度（活動時間に合わせて設定可）
- 4 **対象** 小学校低学年以上



5 実際の活動

(1) コース設定・ホールの設置

各団体に1～5ホールまでを地図を見ながら設置してください。

(2) ルール説明

スコアカードを配布し、各団体の指導者からルールや方法について説明してください。

(3) フライングディスクゴルフ開始

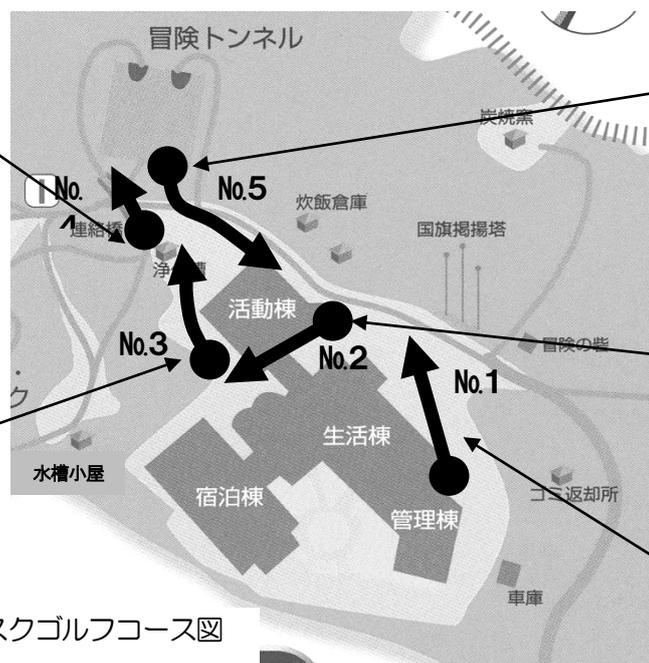
数名のグループを編成して取り組みます（最大1グループ6名まで）。Aグループは1ホールから、Bグループは2ホールから等、ずらしてスタートするとよいです。

(4) フライングディスクゴルフ終了

カードを回収してスコアを集計します。全体が終了したら結果を発表してください。

6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○フライングディスク	●救急薬品
○スコアカード・鉛筆（人数分）	
○ホール（5ホール分）	



フライングディスクゴルフコース図

IV-10 ナイトハイキング

小さな明かりを頼りに夜道を歩いたり、全く音のしない静かな森の中に身をおいたりする経験は、日常生活では決して味わうことができません。人間は誰でも真っ暗な世界が怖いものです。班の仲間と協力し合って自然の“怖さ”を克服することで、より一層団結力が高まることでしょう。

- 1 **ねらい** 仲間とともに暗闇で静寂な山道を歩くことで、日中は感じる事のなかった自然の美しさや怖さを体感する。
- 2 **活動場所** 飯豊少年自然の家ハイキングコース
- 3 **所要時間** 1時間程度（活動時間に合わせて設定可）
- 4 **対象** 小学校中学年以上



5 実際の活動

(1) コース設定

コースは各団体の活動時間に合わせて設定できます。コースタイムは以下を参照してください。

- Aコース；くりの木テントサイト～展望台～くりの木テントサイト（約30分）
- Bコース；くりの木テントサイト～古峰神社～展望台～くりの木テントサイト（約40分）
- Cコース；本館～道標P～道標S～くりの木テントサイト～本館（約30分）

(2) ナイトハイキングについての説明

コースの説明だけでなく、インディアンウォーク（手を前方に出し、片方のつま先にもう一方のかかとをつけて歩く）などの慎重な歩き方を心がけることや、奇声を上げたり懐中電灯を振り回したりしないなどの約束をしっかりと守らせてください。

(3) ナイトハイキング開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

- ・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
- ・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
- ・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
- ・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

(4) ナイトハイキング終了

ナイトハイキングをして感じたことや思ったことを全体やグループごと振り返ります。

6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○電池ランタン	<ul style="list-style-type: none"> ●救急薬品 ●懐中電灯など（必要な場合） ●電池ランタンを使用する場合1台につき単三乾電池3本

7 指導上の留意点

- ◆携帯電話はほとんどの場所につながりますが、感度の悪い場所もありますのでご注意ください。
- ◆必ず事前にコースの下見を行い、安全面や実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。
- ◆ナイトハイキングを行う場合は、以下の地点に必ず関門員を配置してください。
 - Aコース；展望台付近
 - Bコース；古峰神社下の冒険の山に向かう分岐点、展望台付近
 - Cコース；道標P、道標S、道標s ※誤って先に進まないように気をつけること。

IV-11 キャンプファイアー・キャンドルサービス

キャンプファイアーやキャンドルサービスは、集団宿泊やキャンプ生活の中で最も感動的なプログラムといえます。普段の生活ではあまり感じる事のない火の暖かさ・美しさを実感させながら、参加者全員が心を通わせ分かち合う場（シェアリング）として思い出に残る活動にしたいものです。

- 1 **ねらい** ○火を囲んで歌ったりゲームをしたりして楽しみ、仲間との親睦を図るとともに互いの絆を深める。
○暗闇と静寂の中で、火を見つめながら活動を振り返り、思い出を分かち合う。

- 2 **活動場所** キャンプファイアー（野外）…… くりの木ファイアー場、まつかさファイアー場
※3団体以上の場合は松岡公園で行う場合もあります。
キャンドルサービス（屋内）…… チャレンジ広場、どろんこ広場 等

- 3 **所要時間** 1～1.5時間程度

- 4 **対象** 希望される団体全て

5 実際の活動

《 キャンプファイアー 》

①ボンファイアー

大きな火を囲んで歌や踊り、ゲームなどのプログラムで大いに楽しもうとするもの。

②カウシルファイアー

厳粛な雰囲気の中でキャンプの心構えや決意を火に誓おうとするもの。

③グループファイアー

形式にこだわらず少人数でたき火を囲みながら語らいを中心として進めるもの。

《 キャンドルサービス 》

ローソクの炎を一人ひとりに点火し、自分の決意や思いを炎に込めて語り合うセレモニー。ボンファイアー的要素を取り入れ、ゲームなどのプログラムで楽しんでもよい。



6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○キャンプファイアー用薪（要事前申込） 【薪置き場】	●歌やダンスのCDなど（必要な場合）
○「営火長」「火の巫女」の衣装と冠 【事務室前の棚】	●CDラジカセを使用する場合、単二乾電池6本
○トーチ棒セット（要事前申込） 【事務室前の棚】	●ワイヤレスアンプを使用する場合、単二乾電池8本
○マッチ、なた、新聞紙など 【事務室前の棚】	
○CDラジカセ、ワイヤレスアンプ 【事務室前の棚】	
○一輪車、スコップ 【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	

7 指導上の留意点

- ◆近年、環境問題に配慮し、ボンファイアーを自粛する団体が増えてきました。キャンプファイアーの意義や活動プログラム上の位置づけを確認し、どのようなタイプのキャンプファイアーが適切かをよくお考えのうえ取り組んでください。
- ◆火の取り扱いには充分気をつけ、担当者が責任をもって火の管理をしてください。なお、キャンプファイアーの場合は、燃え残りが出ないように、炎がおき火になるまで担当者が火のそばに付いて管理してください。
- ◆灰については、翌日の朝、完全に灰になった状態を確認後、くりの木ファイアー場わきの「灰捨て場」に利用団体で片付けてください。
- ◆「炎が大きすぎた」「飛び火した」等の非常時に備えて、水道・ホースの位置を明るいうちに確認しておいてください。
- ◆マイク・拡声器等を使用する際の大音量や奇声を上げるなど、他の団体に迷惑にならないようにご留意ください。

キャンプファイアー展開例 ※ボンファイアーを中心とした三部構成の例

展 開	担 当	内 容 な ど
第1部 迎火のつどい ①入 場 ②はじめのことば ③歌1 ④営火入場 ⑤点 火 ⑥歌2	エールマスター エールマスター 火の巫女 営火長（火の神） 火の巫女 エールマスター	○全員ファイアー場に静かに入場する。火床を囲んで円形に集合する。 「今日一日、私たちの活動を明るく照らしてくれた太陽も、西のかなたへと沈んでいきました。さあ、営火を迎える歌をみんなで歌いましょう。」 ○『遠き山に日は落ちて』を歌う。2番からハミング。 ○ハミングに合わせて入場し、場内を一周する。 ○営火長より火や人間の生活にまつわる話をする。 例「今、火の巫女によって運ばれてきたこの小さな火は、この集いの輪に明るさを与えてくれました。火は遠い昔から私たちに生きることの喜びや勇気を与えてくれたものです。火を見つめていると体が温まるだけでなく、心をわきたたせる不思議な力もみなぎってきます。さあ、この火がみんなにたくましく生きる力とあたたかい心を与えてくれるように、みんなの願いをこめましょう。」 ○ゆっくり前に進み、トーチから点火する。 ○『燃えろよ燃えろ』を歌う。
第2部 親睦のつどい ①ゲーム ②フォークダンス	エールマスター	○ゲームやフォークダンスなどを入れて、全体を盛り上げていく。ただしあまり大声を上げたり騒いだりしない程度に。
第3部 送火のつどい ①黙 想 ②採 火 ④分 火 ⑤誓いのことば ⑥退場・歌3	エールマスター 火の巫女 営火長（火の神） 火の巫女 代表者 エールマスター エールマスター	○各自黙想し、1分たったと思ったら立ち上がる。 ○ゆっくり前に進み、トーチに採火する。 ○営火長よりまとめの話をする。 例「大きく燃え上がっていた炎も、小さな炎となりました。この炎を見つめながら、もう一度今日一日を振り返ってみましょう。人は誰でも一人きりでは生きていけません。互いに助け合い、励ましあってこそ人間なのです。今日のすばらしい思い出を胸に刻んだみなさんは、きっと明日から、たくましく力いっぱい、そしてあたたかい心をしっかりと持って、豊かな学校生活（社会生活）を送っていくことができるでしょう。」 ○班長などのグループの代表者が前に進み、火の巫女から分火してもらう。 ○グループごと『誓いのことば』を述べ、代表者から全員に分火していく。 ○『今日の日はさようなら』を歌う。2番からハミングしながら静かに退場する。

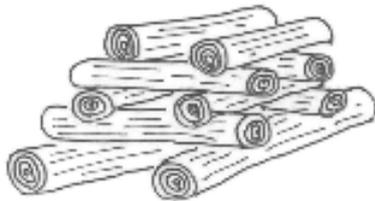
<役割分担>

- ・エールマスター 司会進行役（1～3名）
- ・営火長（火の神） 各団体の代表者（1名）
- ・火の巫女 火の点火役（2～3名）
- ・ファイアーキーパー 火の管理（大人数名）

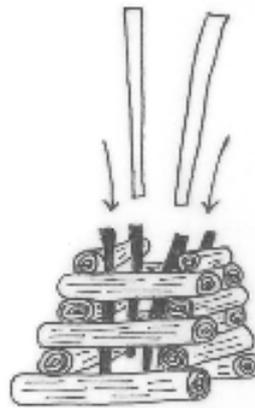
キャンプファイアーのポイント！

各部ごとに雰囲気を変えて展開することが大切です。第一部と第三部は厳かで静かな雰囲気、第二部は楽しく和やかな雰囲気で行うようにしましょう。そして参加者全員の協力が必要不可欠です。

資料1 キャンプファイアー（大）の組み方 ～井げた式～



①火床に新聞紙を軽く丸めてしき、井げたに組んでいく。



②井げたの四隅に細木4本を立てかけ、バタ板を入れていく。

キャンプファイアーを行うにあたっての厳守事項

◆ 薪の量が団体の規模や活動時間に合っているのかを十分に検討する。

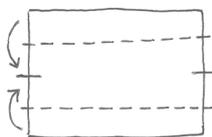
※薪の量は以下の3タイプから選択してください。

- | | |
|------------------------------|---------|
| <小>炊飯用薪と同じもの（1束490円） | →約1時間燃焼 |
| <中>バタ板3束を半分にしたもの（1セット2,500円） | →約2時間燃焼 |
| <大>丸太10本+バタ板2束（1セット5,000円） | →約4時間燃焼 |

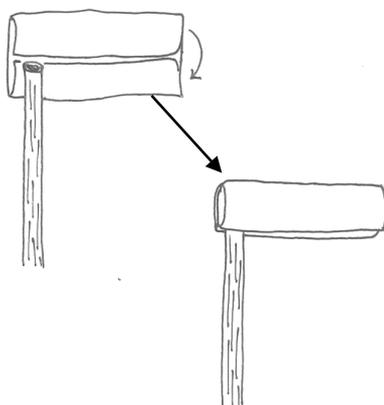
◆ 点火してから灯油をかけたり、火の中に灯油のついた物を投げ込んだりしない。

◆ 燃え残りを出さないように、おき火になるまで火の管理を徹底する。

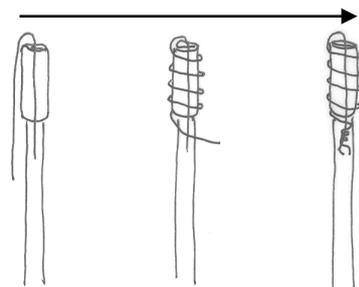
資料2 トーチ棒の作り方（※ホームページに動画資料がございます）



①布の両端を真ん中にたたみ、棒の焦げているほうに巻いていく。



②針金を先のほうに引っ掛け、下に向かって巻いていく。



※トーチ棒の燃焼時間は、7分間が目安となります。巻き方や灯油の量、気温等で差異が出ますことをご了承ください。

キャンドルサービス展開例 ※静かな雰囲気での団体の親睦を深めるための展開例

展 開	担 当	内 容 な ど
①入 場		○『遠き山に日は落ちて』を静かに歌いながらキャンドルマスターを先頭に一列になって入場する。円形に集合し、ハミングしながら待機する。
②キャンドル入場	キャンドルキャリアー	○円形に集合している参加者の内側をゆっくりと一周する。キャンドルマスターの前に来たらローソクを渡す。
②はじめのことは	エールマスター	「今日一日、私たちの活動を明るく照らしてくれた太陽も、西のかなたへと沈んでいきました。今日一日を振り返りながら、私たちがより一層親睦を深めることができるようにキャンドルサービスを始めます。」
③点 火	キャンドルマスター	キャンドルマスターは両隣に点火し、次々に火を移していくようにする。点火されている間に火の話をする。 例「私たちには全ての心に灯し火があります。私の目の前に輝く小さな炎は、暗闇で光を放ちながら、自らの進む道を照らし、私たちに目的を持ちなさいといっています。火は暖かく燃えながら、周囲の人々に対し明るく温かい人間になりなさいといっています。そしてこの火はわが身を焼き尽しながら互いに協力し助け合って生きることの大切さを教えてくれます。みんなの心の灯し火にも、みんなの手にしたローソクの炎は何かを語りかけているのです。」
④ふりかえり	エールマスター	○一日の出来事をゆっくりとプログラムに従って話していき、参加者同士の関わりを思い出させていく。 「これからみなさんにも今日を振り返って、感じたことや思ったことを一言ずつ話してもらいます。話した人から自分の火を消していきましょう。」
⑤誓いのことは	キャンドルマスター	○最後にキャンドルマスターの火だけが残ったら、まとめの話をする。 例「ここに集まったみなさんによって、すばらしい集いとなりました。そしてこの思い出は、ローソクの炎のようにいつまでも輝きながら心に残ることでしょう。火はこの一つだけになりましたが、心の灯し火で結び合った私たちの友情の輪は、さっきの火の輪よりも、心の中でもっと輝き続けていることでしょう。」
⑥退 場	エールマスター	○『今日の日はさようなら』を歌う。2番からハミングし、キャンドルマスターを先頭にして静かに退場する。

<役割分担>

- ・エールマスター 司会進行役（1～3名）
- ・キャンドルマスター 各団体の代表者（1名）
- ・キャンドルキャリアー 火の点火役（2～3名）
- ・ファイアーキーパー 火の管理（大人数名）



キャンドルサービスのポイント！

キャンドルサービスは、静かに一日を振り返ったり、仲間との心の触れ合いを深めたりすることに効果があります。そこで、静かな落ち着いた雰囲気の中で進めていくことが大切となります。また、キャンプファイアーの雨天時案として行う場合は、大きな燭台を使用して三部構成で展開することもあります。キャンドルサービスの意義をどう捉えるかによって大きく展開も変わってきます。

V 資料

- 資料－1 様式第1号－③
山形県飯豊少年自然の家利用許可申請書記入見本
- 資料－2 利用申込基本シート記入見本
- 資料－3 利用申請① 活動プログラム記入見本
- 資料－4 利用申請② 給食申込書記入見本
- 資料－5 利用申請③ バス利用申込書記入見本
- 資料－6 利用申請④ 宿泊者名簿
- 資料－7 利用申請⑤ 引率・指導者名簿
- 資料－8 館内平面図
- 資料－9 本館～テントサイト周辺図
- 資料－10 利用団体の代表者の皆様へ（お願い）



飯豊少年自然の家の利用をする場合は、様式第1号－③「山形県飯豊少年自然の家利用許可申請書」と利用申請①「活動プログラム」に必要事項をご記入のうえ、利用日の3週間前までにご提出ください。また、利用内容によっては以下の申請文書の提出も必要となります。

- 館内食や野外炊飯等の給食を利用する場合 利用申請②「給食申込書」
- 自然の家のバスを利用する場合 利用申請③「バス利用申込書」
- 館内に宿泊する場合 利用申請④「宿泊者名簿（自作も可）」
※引率・指導者がどの部屋を利用するか
わかるようにしておくこと。
- 宿泊利用で、中学生以下に対する引率・指導者がいる場合 利用申請⑤「引率・指導者名簿」

※飯豊少年自然の家のホームページ (<http://www.iideshonenshizennoie.jp>) から、データで利用申請①～⑤を入手することも可能です（PDFおよびExcel形式）。

（様式 第1号-③） 令和7年度 山形県飯豊少年自然の家 利用許可申請書

令和 年 月 日

山形県飯豊少年自然の家

申請者

指定管理者 株式会社飯豊町地域振興公社 殿 代表者郵便番号・住所

団体名

代表者職氏名

利用責任者職氏名

電話・FAX番号

TEL

FAX

メールアドレス

次のとおり利用したいので、関係書類を添えて申請します。

利用目的(研修内容)											
利用期間	第1希望	年	月	日()	～	年	月	日()	入所時刻 午前・午後	退所時刻 午前・午後	
	第2希望	年	月	日()	～	年	月	日()			
	第3希望	年	月	日()	～	年	月	日()	:	:	
※同日程に複数の団体が申し込まれた場合、調整が必要な場合がございますので必ず第3希望までご記入ください。											
同意事項	<input type="checkbox"/> 宿泊を希望される団体の方につきましては、セミナー(事前研修)の参加は必須となります。以上の内容を確認の上同意します。										
同意事項	<input type="checkbox"/> 所バス利用の規定事項を確認の上同意します。 ※所バス迎え時刻について、迎えに向かうバスが自然の家を8:30以降に出発できるよう設定をお願いします。					所バス利用の有無 有 ・ 無		所バス迎え時刻 :			
所バス利用の理由・詳細 ※所バスを利用される際は必ず記入してください。											
利用者区分	児童・生徒等				指導者	大学生	青年・成人・一般			計	社会教育関係団体
	幼児以下	小学生	中学生	高校生	引率者		青年団体	企業関係	その他		
人員	男										1 該当
	女										2 非該当
	計										
主な活動内容 (利用日の各食事は該当項目を○で囲む、宿泊日ごとに宿泊区分を○で囲む)											
利用月日	活動内容	朝食	午前	昼食	午後	夕食	夜	宿泊区分(該当に○点)	備考		
第1日目	/ ()	持参		持参		館内		館内泊			
		館内		館内		野外		テント泊			
		野外		野外		弁当		ピバーク泊			
第2日目	/ ()	館内		館内		館内		館内泊			
		野外		野外		野外		テント泊			
		弁当		弁当		不要		ピバーク泊			
第3日目	/ ()	館内		館内		館内		館内泊			
		野外		野外		野外		テント泊			
		弁当		弁当		不要		ピバーク泊			
(注) 1 年間、複数回利用する場合は、1回ごとに利用許可申請書を提出してください。連続する日を日帰りを利用して利用する場合は本申請書1枚の提出で結構です。 2 代表者に利用許可証をお送りするため、代表者の住所を記入してください。 3 宿泊利用について同意する場合は、 <input type="checkbox"/> に○印を記入してください。 4 所バス利用について同意する場合は、 <input type="checkbox"/> に○印を記入してください。 5 誓約事項について誓約する場合は、 <input type="checkbox"/> に○印を記入してください。 6 誓約事項について確認するため、山形県警察本部長に申請者の住所、氏名その他の申請書に記載されている情報を提供して、その意見を聴くことがあります。この場合において、必要がある場合は、申請者の生年月日等の個人情報を確認することがあります。											
誓約事項	<input type="checkbox"/> 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利する使用でないことを誓約します。										
併せて提出する書類											
<input type="checkbox"/> 活動プログラム (3週間前まで提出)		<input type="checkbox"/> 給食申込書 (3週間前まで提出)		<input type="checkbox"/> 引率・指導者名簿 (3週間前まで提出)		<input type="checkbox"/> その他の参考資料					
<input type="checkbox"/> 所バス利用申込書 (3週間前まで提出)		<input type="checkbox"/> 宿泊者名簿 (入所受付時まで提出)		活用セミナー開催日 ※後日、別途お申し込みください。			①4/16 ②5/14 ③6/22 ④8/19				

<記入見本>

山形県飯豊少年自然の家 利用申込(基本シート)

利用団体名	〇〇市立△△小学校□年
-------	-------------

代表者氏名	飯豊 太郎
-------	-------

利用される団体の重要なデータとなりますので必ず記入の上、ご提出ください。

連絡先	〒	—			
	住所				
	電話	—	—	携帯	
	FAX	—	—	メール	

活動のねらい	
--------	--

利用人数・班		幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	引率者 指導者	一般	合計	班数
	男							30	30	10
	女							31	31	

利用日および 利用形態	6 月 1 日 木 曜日 より
	1泊2日 利用 ※宿泊の場合のみ→ 館内泊

交通手段		交通手段	台 数
	入所	貸切バス(所バスも利用)	2
	退所	貸切バス(所バスも利用)	2

受付・支払いをスムーズに行うため必ずご記入ください。

経費	経費の支払方法	明細内訳
	利用当日現金払い	名分、 名分、 名分 の 枚

【指定管理者/株式会社飯豊町地域振興公社】

山形県飯豊少年自然の家 活動プログラム

利用日	6月1日 木曜日(第1日目)
利用形態	1泊2日 テント泊

利用団体名	〇〇市立△△小学校口年
代表者氏名	飯豊一太郎
利用者数	64人 班数 40

時間	通常予定			雨天時案			備考
	活動内容(上)・場所(下)	活動用具	数量	活動内容(上)・場所(下)	活動用具	数量	
6:00							
7:00							
8:00							
9:20	事務所打合せ						
9:30	であいのついで いいでの広場						
10:00	弁当受取			左に同じ			
10:30	追跡ハイキング	追跡ハイキングセット	10	館内ハイキング	館内ハイキングセット	10	
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	野外炊飯	炊飯用皿セット	10	左に同じ			
14:00	くりの木炊飯場	飯 炊飯用薪 薪 箸 竹コップ コップ 紙 一足布	20 10 3 3 3 6 1 20	どろんこ広場			雨天時(調理・食事・どろんこ広場、 煮炊き・どろんこ広場軒下)
15:00							
16:00							
17:00	代表者打ち合わせ						
17:30	食器点検						
18:00							
19:00	キャンプファイアー	キャンプファイアー用薪(大)	6	キャンドルサービス	ローソク サイン係袋 種人用線香 火の海老燵 火の東安燵	6 1 6 1 2	
19:00	くりの木ファイアー場	火の海老燵 火の東安燵	1 2	どろんこ広場			
20:00	20:30 入浴						
21:00	21:10 その他(備考欄) 食堂						ふりかえり
21:30	就寝						
22:00							
23:00							

来所されたら、主担当の方は事務室にお越しください。当日の打合せを行います。

野外での活動を予定している場合は、雨天時案も必ずご確認ください。当日になって急に申し出られても対応できない場合があります。ご了承ください。

活動場所については、他団体の申込状況を考慮し、自然の家担当者が調整のうえ、事前にお知らせします。申込段階ではご希望の場所を記入してください。

必要と思われる活動用具をすべて記入してください。どんな用具が必要になるのかわからない場合は研修担当までお問い合わせください。

「代表者打ち合わせ」の時間を必ず設定してください。場所は入所受付の際お知らせします。

館内泊の場合は、男女比をお考えのうえ、各部屋の宿泊予定人数を記入してください。他団体の申込状況によっては希望する部屋にならない場合もありますのでご了承ください。リーダー室1〜3と1Fだけとり以外の定員は、洋室が16名、和室が14名です。

1F宿泊部屋名	宿泊人数	1F宿泊部屋名	宿泊人数
洋室 たけとり	8	洋室 水切り	7
洋室 あかおに	8	洋室 さるかに	6
洋室 てんぐ	8	和室 リーダー室1	1
2F宿泊部屋名	宿泊人数	2F宿泊部屋名	宿泊人数
洋室 まつかさ	7	和室 香美	
洋室 かやのみ	7	和室 眺山	
洋室 いがぐり	8	和室 葉山	
洋室 どんぐり	8	和室 朝日	
和室 リーダー室2		和室 リーダー室3	1

山形県飯豊少年自然の家 給食申込書(見本)

利用団体名 〇〇市立△△小学校□年

食事内容のいずれかに○をつけてください。
弁当を注文する場合は申込人数も忘れずに記入してください。

第(一)日目	6月1日 木曜日		食事内容 ※いずれかに○	申込人数	館内食名	
	朝食	()	館内食	() 名	弁当メニュー名	提供時刻
		()	弁当	(61) 名	いいで弁当	10:00
		()	野外炊飯	() 名	野外炊飯メニュー名	班の人数(班編成の合わせて○名×△班と詳しく)
		()	持参弁当	() 名	①	名×班、名×班、名×班
	夕食	()	館内食	() 名	②	名×班
		()	弁当	() 名	野外炊飯をする場合は、メニュー名と班の人数を記入してください。 1班4～7名まででお願いします。 複数のメニューを希望される場合、1メニュー50名以上でお申し込みください。※夏季の肉の提供時間は15:00以降、もしくは調理直前となります。	
		(○)	野外炊飯	(61) 名	野外炊飯メニュー名	班の人数(班編成の合わせて○名×△班と詳しく)
		()	持参弁当	() 名	①	ポークカレー 6名×3班、5名×1班、4名×1班
					②	ジュージュー焼き 6名×4班、5名×2班、名×班

弁当を注文する場合は提供を希望する時間も必ず記入してください。
提供できる時間は9:00～13:00の間です。

第(二)日目	6月2日 金曜日		食事内容 ※いずれかに○	申込人数	館内食名	
	朝食	(○)	館内食	(61) 名	部活めし	
		()	弁当	() 名	弁当メニュー名	提供時刻
		()	野外炊飯	() 名	野外炊飯メニュー名	班の人数(班編成の合わせて○名×△班と詳しく)
		()	持参弁当	() 名	①	名×班、名×班、名×班
	夕食	()	館内食	() 名	②	名×班、名×班、名×班
		()	弁当	() 名	館内食名	
		(○)	野外炊飯	(61) 名	弁当メニュー名	提供時刻
		()	持参弁当	() 名	野外炊飯メニュー名	班の人数(班編成の合わせて○名×△班と詳しく)
					①	うどん打ち(天ぷら付き) 6名×7班、5名×3班、4名×1班
					②	名×班、名×班、名×班

館内食で「飯少めし」、「部活めし」を注文する場合は、どちらかを選択してください。

うどん打ち、ピザづくりをする場合は、食材準備の都合上、班編成を必ずご記入ください。
また、ピザはソーセージかシーフードのどちらかを選んでご記入ください。(包み焼きピザの場合は、選ぶことができません。)
うどん打ちは天ぷら付きと天ぷらなしから選んでご記入ください。

※請求書や領収書の内訳を必ずご記入ください。

領収書	57名分、4名分、名分として	2枚作成
-----	----------------	------

何名分の領収書を何枚必要なのか、内訳を必ず記入してください。

食物アレルギー: 有 無

有の場合、具体的な内容をご記入ください(食物アレルギーや夜食等の希望等)

(例) 1名卵アレルギー、1名小麦アレルギー、合計2名代替え食希望

夜食としておにぎりやパン等を提供することができます。また飲み物等も仕入れ価格で提供することができます。詳しい内容や品名については事前にご相談ください。

山形県飯豊少年自然の家 バス利用申込書（見本）

利用団体名 〇〇市立△△小学校□年

1. 利用日時・場所等

回	利 用 日	利用開始時刻	出 発 地	目 的 地
1	6 月 1 日 木 曜日	9:00 に	△△小学校 から	自然の家 まで
2	6 月 2 日 金 曜日	14:00 に	自然の家 から	△△小学校 まで
3	月 日 曜日	に	から	まで
4	月 日 曜日	に		まで

利用開始時刻とは乗車時刻のことです。出発地から自然の家までの時間を考慮して設定してください。

2. 利用目的

宿泊体験学習で飯豊少年自然の家を利用するため。

3. その他

広域学習で見学地への送迎が必要な場合は、必ず入所してから見学地へ出かけるようにしてください。乗車場所から直接見学地へ送迎することはできませんので、ご承知おきください。

山形県飯豊少年自然の家 宿泊者名簿

利用団体名 _____

1 階						
室名 人数	たけとり	あかおに	てんぐ	こぶとり	さるかに	リーダー室1
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

2 階					
室名 人数	まつかさ	かやのみ	いがぐり	どんぐり	リーダー室2
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

室名 人数	吾 妻	眺 山	葉 山	朝 日	リーダー室3
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

○館内泊をする団体は、宿泊者名簿を利用日当日までに提出してください。
 ○各団体で作成した「しおり」や「部屋割表」等を代用しても構いません。
 ○引率・指導者が特定できるように※印をつけてください。

特に守っていただきたい留意事項が記載されていますので、入所前にもご一読いただき、事前指導などで利用者にもお伝えください。

利用団体の代表者の皆様へ(お願い)

山形県飯豊少年自然の家は「山形県の青少年教育施設」です。きまりを守って安全に活動していただくために、また利用者同士が互いに気持ちよく活動することができるように、以下について皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

>>>> **利用者の方々に以下について必ずお伝えください** <<<<

1. 施設や活動用具を大切に使用すること

当所は公共施設であり、活動用具も全て公共物です。壊れているものや足りないものがあると次に使用する利用団体に迷惑をかけることとなりますので、破損したり紛失したりした場合は速やかに申し出てください。

2. 安全に十分気をつけること

きまりを守り、安全第一に活動するようにしてください。また、危険な動植物（ウルシ・スズメバチ・マムシ等）には絶対に近づかないことや、「なた」「カッター類」を使用する場合は取り扱いに十分気をつけるよう声がけしてください。

3. 活動場所の後片付けをしっかりとすること

※用具を設置しておりませんので、トイレの清掃は除きます。

活動後は必ず後片付け・清掃をしてください。清掃用具は館内各所にあります。衛生上、館内にごみ箱を設置しておりません。清掃後のごみは事務室わきのごみ箱に捨ててください。

4. 自分のごみは必ず持ち帰ること

自分で持ち込んだものから出たごみは必ず持ち帰ってください。

5. 非常時の対応について確認すること

館内で活動する場合、各部屋から一番近い非常口を一人ひとり必ず確認するようにしてください。野外での活動についても非常時の対応について団体ごとご確認ください。

ケガ等で救急車を要請する場合、現場にて直接要請していただき、併せて本所事務室にご連絡ください。また、可能であれば緊急車両を一台ご準備ください。

その他の留意点

- ◆**敷地内全面禁煙**です。館内はもちろんのこと、テントサイト等の屋外活動エリアもすべて禁煙となっております。
- ◆**宿泊部屋での飲食は厳禁**です。指導者ミーティング等で飲食する場合は食堂で行ってください。
- ◆**研修生入口は22:30に施錠**します。それ以降の出入りはご了承ください。
- ◆**23:00には全て施錠・消灯**となります。指導者のミーティング等も23:00前に後片付けを終え、宿泊部屋にお戻りください。

山形県飯豊少年自然の家